

# 宇都宮大学データサイエンス経営学部データサイエンス経営学科 学生の確保の見通し等を記載した書類（資料）

## 目次

- 【資料1】 宇都宮大学データサイエンス経営学環（仮称）検討時のアンケート（高校生向け）結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 【資料2】 宇都宮大学データサイエンス経営学環（仮称）検討時のアンケート（企業・団体等向け）結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 【資料3】 宇都宮大学「データサイエンス経営学部データサイエンス経営学科」（仮称）設置に関するニーズ調査結果報告書【高校生対象調査】・・・・・・・・・・ 21
- 【資料4】 宇都宮大学入学志願状況等（募集人員、志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、定員充足率）平成30年度～令和4年度・・・・・・・・・・ 42
- 【資料5】 「宇都宮大学データサイエンス経営学部（仮称）」の紹介チラシ・・・・・・・・ 43
- 【資料6】 栃木県、宇都宮市、地域産業界からの要望書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
- 【資料7】 宇都宮大学「データサイエンス経営学部データサイエンス経営学科」（仮称）設置に関するニーズ調査結果報告書【企業対象調査】・・・・・・・・・・ 53



# 地域からのニーズ ①

## 地域のニーズ調査

- ・ 栃木県には、高校生の進学先の大きな割合を占める商学・経済学分野の人材を育成する国公立大学がない。
- ・ 地元産業界等において、データサイエンスの素養を持った人材の育成に対する需要が高まっている。  
→ 地域のニーズを明らかにするため、**栃木県内の高校生および企業・団体等に対するアンケート調査を実施した。**

## 栃木県内の高校生（県立高校）の大学等学部別進学割合

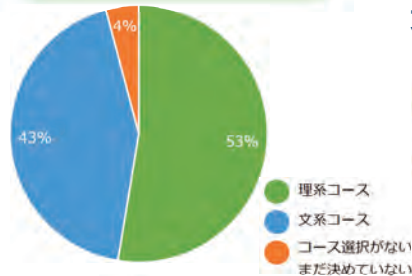
✓ 工学: 19.1%    ✓ **商学・経済学: 14.0%**    ✓ 社会学・その他: 6.6%    ✓ 教員養成: 6.3%    ✓ 農学・水産学: 3.9%

※出典:令和2年度県立高等学校等卒業者の進路状況調査報告書（栃木県教育委員会）

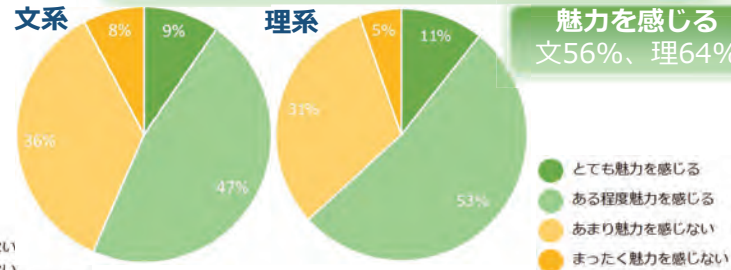
## 栃木県内の高校生に対するアンケート調査

過去5年間に於いて、宇都宮大学への入学実績（5名以上）のある高等学校（39校）の在校生に対するアンケート調査を実施  
回答者数1,514名

### 所属もしくは希望コース



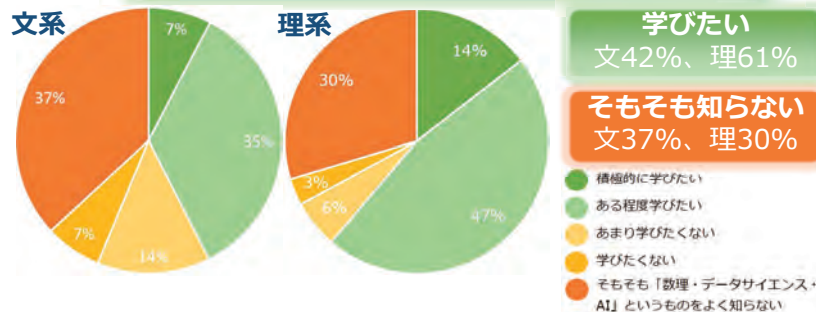
### データサイエンス経営学環（仮称）に魅力を感じるか



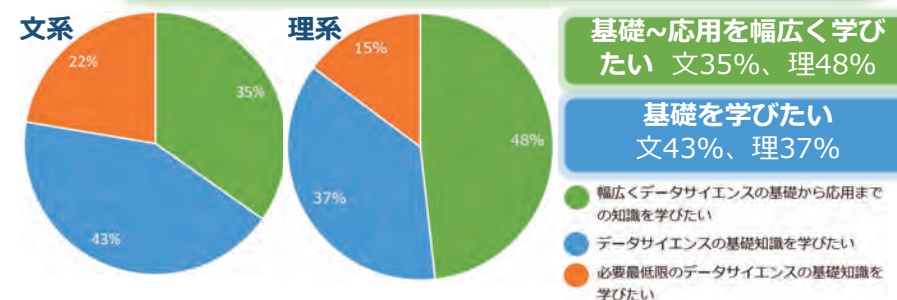
### 魅力を感じる理由



### これからデータサイエンスをどの程度学びたいか



### データサイエンスの基礎と応用をどの程度学びたいか



令和4年1月〇日

## 宇都宮大学データサイエンス経営学環（仮称）の設置に 関するアンケート実施のお願い

〇〇高等学校長 殿

宇都宮大学 理事・副学長 吉澤 史昭

拝啓

大寒の候、貴校におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、本学の教育・研究活動に関するご理解とご協力ならびに本学への進学指導につきまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。さて、本日は貴校生徒に対するアンケート調査をお願いしたく、ご連絡いたしました。

本学には、栃木県内の高校生の進学分野（大学）として大きいシェアを占める商学・経済学分野の教育組織がなく、若者のニーズ、またこの分野の人材を求める地元産業界のニーズに对应していませんでした。商学・経済学分野の中でも経営学は、企業や組織を管理・運営するための手法・論理を研究する学問であり、事業を創出できる経営人材は企業にとっては財産ともいえます。

一方、現在内閣府、文部科学省、及び経済産業省の3府省が連携して、各大学・高等専門学校に対する「数理・データサイエンス・AI（人工知能）教育プログラム認定制度」を創設するなど、デジタル社会の「読み・書き・そろばん」といわれる「数理・データサイエンス・AI」の教育基盤の整備が急速に進められています。ここで、「データサイエンス」とは、様々なデータを多面的に分析・解析し、必要とする情報、法則、関連性などを導き出す学問のことであり、様々な分野での応用が期待されています。データサイエンス能力をもった人材の育成は、社会的要請であり、特に産業界においては、急務といわれています。

このような状況の下、宇都宮大学では、令和6年（2024年）4月からデータサイエンスと経営学を学び文系・理系の枠を越えた複眼的な視点を養うことができる「データサイエンス経営学環（仮称）」の設置を構想しております。学環（学部等連係課程）とは、大学の各学部が有している教育・研究の資源を有効に活用しながら、それらを有機的に連係させて領域横断的な教育プログラムを実施する組織で、学環の卒業生には、学部卒業生と同じく「学士」の学位が与えられます。本学環の設置を計画するにあたり、高校生の皆さんの進路選択の考え方や、これから学んでいきたい学問分野等をお伺いし、より充実した教育プログラムを設計していきたいと考えております。

つきましては、「高校生の皆さんへ」を貴校の生徒にご提示いただき、アンケートの実施にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。なお、アンケートの内容は、添付資料のようになっております。何卒、よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、貴校のますますのご発展をお祈り申し上げます。

敬具

# 高校生の皆さんへ

## 宇都宮大学データサイエンス経営学環（仮称）の設置に関する アンケートにご協力ください

### 【目的】

宇都宮大学では、令和6年（2024年）4月からデータサイエンスと経営学を学ぶことができる「データサイエンス経営学環（仮称）」の設置を構想しています。このアンケートは、高校生の皆さんから進路選択の考え方や、これから学んでいきたいことをお伺いし、宇都宮大学の教育組織をさらに充実させるための参考とさせていただくものです。

このアンケートで得られた情報は、統計資料としてのみ利用し、個人が特定されることは一切ありません。アンケートへのご協力をお願いいたします。

### 【回答方法】

Google Forms を利用したインターネットアンケートとなります。下の URL にアクセスして、回答をしてください。回答時間は、5分程度です。

<https://bit.ly/3K5hsyq>



### 【調査対象】

高校1年生 ～ 3年生

### 【調査期間】

令和4年（2022年）2月17日（木）まで

### 【問い合わせ先】

宇都宮大学戦略企画室 福田 将

電話：028-649-8636、Eメール：sho-fkd@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

ご協力ありがとうございました。

# 宇都宮大学データサイエンス経営学環 (仮称) に関するアンケート (高校生向け)

宇都宮大学では、令和6年(2024年)4月からデータサイエンスと経営を学ぶことができる「データサイエンス経営学環(仮称)」の設置を構想しています。このアンケートは、高校生の皆さんから進路選択の考え方や、これから学んでいきたいこととお伺いし、宇都宮大学の教育組織をさらに充実させるための参考とさせていただくものです。このアンケートで得られた情報は、統計資料としてのみ利用し、個人が特定されることは一切ありません。アンケートへのご協力をお願いいたします。

\*必須

1. 高校名を記入して下さい。 \*

\_\_\_\_\_

2. 性別を教えてください。 \*

1つだけマークしてください。

- 男性  
 女性  
 どちらにもあてはまらない

3. 所属もしくは希望しているコースを選択して下さい。 \*

1つだけマークしてください。

- 文系コース  
 理系コース  
 コース選択がない、もしくは、まだ決めていない

4. 高校卒業後の進路について、現時点での希望を選択して下さい（複数回答可）。

\*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 国立大学に進学
- 公立大学に進学
- 私立大学に進学
- 短期大学に進学
- 専門学校・専修学校に進学
- 就職
- その他

5. 現在、どのような学問分野に興味がありますか。以下の項目から、興味のある学門系統全てをチェックして下さい（複数回答可）。ここで、下の項目にある「データサイエンス」とは、様々なデータを多面的に分析・解析し、必要とする情報、法則、関連性などを導き出す学問のことであり、様々な分野での応用が期待されています。データサイエンス能力をもった人材（データサイエンティスト）の育成は、社会的にも強く要請されています。\*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 政治学
- 経済学
- 経営学
- 上記以外の社会科学（法学，社会学，観光学など）
- 教員養成・教育学
- 生活科学
- 芸術学
- 農学（水産学を含む）
- 工学①（機械，電気・電子，情報，応用化学など）
- 工学②（建築・土木・環境工学など）
- 総合科学（人間科学などを含む）
- 文学・語学
- 国際関係学
- 看護・保健学
- 医・歯・薬学
- 理学（数学，物理学，天文学，化学，生物学など）
- データサイエンス
- その他
- まだ決めていない

6. 次世代の「読み書きそろばん」といわれている「数理・データサイエンス・AI」に関する知識について、これからどの程度学びたいと思いますか。\*

1つだけマークしてください。

- 積極的に学びたい 質問7にスキップします
- ある程度学びたい 質問7にスキップします
- あまり学びたくない 質問8にスキップします
- 学びたくない 質問8にスキップします
- そもそも「数理・データサイエンス・AI」というものをよく知らない  
質問9にスキップします

#### 数理・データサイエンス・AIを「学びたい」理由

7. 「数理・データサイエンス・AI」について「学びたい」と回答した理由を教えてください（複数回答可）。\*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 興味があるから
- 今後必要性を感じるから
- 数学系の科目が得意だから

その他:  \_\_\_\_\_

質問9にスキップします

#### 数理・データサイエンス・AIを「学びたくない」理由

8. 「数理・データサイエンス・AI」について「学びたくない」と回答した理由を教えてください（複数回答可）。\*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 興味が無いから
- 必要性を感じないから
- 数学系の科目が苦手だから

その他:  \_\_\_\_\_

質問9にスキップします

#### 学環について

9. 新たな教育・研究組織として「学部等連係課程（学環）」というものがありますが聞いたことがありますか。学環とは、大学の各学部が有している教育・研究の資源を有効に活用しながら、それらを有機的に連係させて領域横断的な教育プログラムを実施する組織です。学環の卒業生も、学部卒業生と同じく「学士」の学位が与えられます。\*

1つだけマークしてください。

- 聞いたことがある
- 聞いたことがない

10. 宇都宮大学では、既存の学部の教育・研究資源を活かしながら、経営学とデータサイエンスを学ぶことができる「データサイエンス経営学環（仮称）」の設置を計画しています。あなたは、どの程度魅力を感じますか。これから Society 5.0 時代が到来し、産業構造が大きく変化していくことが予測される中、データサイエンス経営学環（仮称）では、データサイエンスを基にした分析・解析能力と経営学の知識を兼ね備えた人材を育成していきます。\*

1つだけマークしてください。

- とても魅力を感じる 質問 11 にスキップします
- ある程度魅力を感じる 質問 11 にスキップします
- あまり魅力を感じない 質問 13 にスキップします
- まったく魅力を感じない 質問 13 にスキップします

#### 学環について「魅力を感じる」理由

11. 「データサイエンス経営学環」について「魅力を感じる」と答えた理由を教えてください（複数回答可）。\*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 経営学に興味があるから
- データサイエンスに興味があるから
- 経営学とデータサイエンスが共に学べるから
- 経営学を学べる国立大学が栃木県内にないから

その他:  \_\_\_\_\_



12. もし「データサイエンス経営学環」に入学するとしたら、データサイエンスをどの程度学びたいですか。 \*

1つだけマークしてください。

- 幅広くデータサイエンスの基礎から応用までの知識を学びたい
- データサイエンスの基礎知識を学びたい
- 必要最低限のデータサイエンスの基礎知識を学びたい

学環について「魅力を感じない」理由

13. 「データサイエンス経営学環」について「魅力を感じない」と答えた理由を教えてください（複数回答可）。 \*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 経営学に興味が無いから
- データサイエンスに興味が無いから
- 経営学とデータサイエンスを共に学ぶ意味が無いと思うから
- 経営学を学べる大学は私立大学を含め他にもあるから

その他:  \_\_\_\_\_

---

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

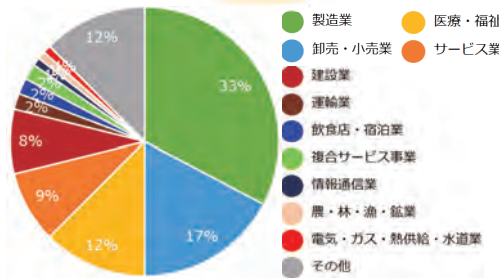


## 地域からのニーズ ②

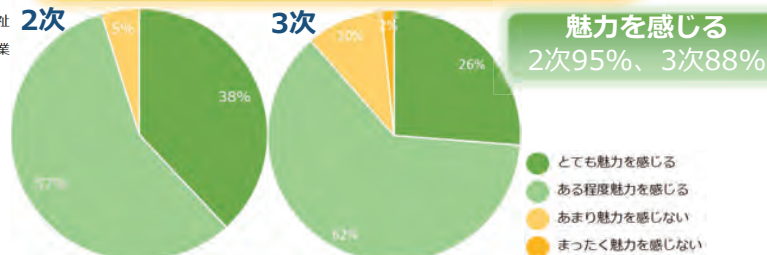
### 企業・団体等に対するアンケート調査

直近で宇都宮大学に求人情報の提供があった栃木県内の企業・団体等（従業員数100名以上）に対するアンケート調査を実施  
送付数 307社、回答企業・団体等数 104社

業種



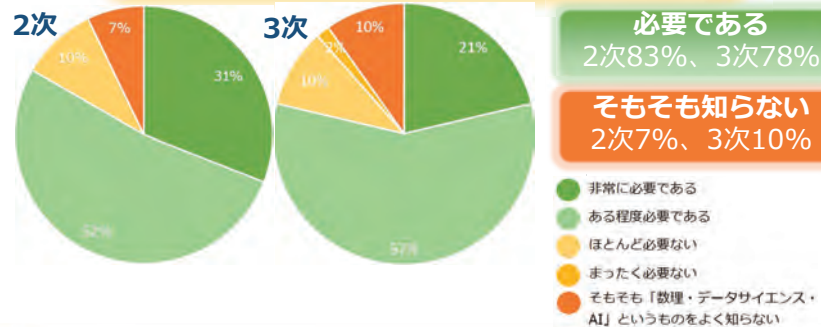
データサイエンス経営学環（仮称）に魅力を感じるか



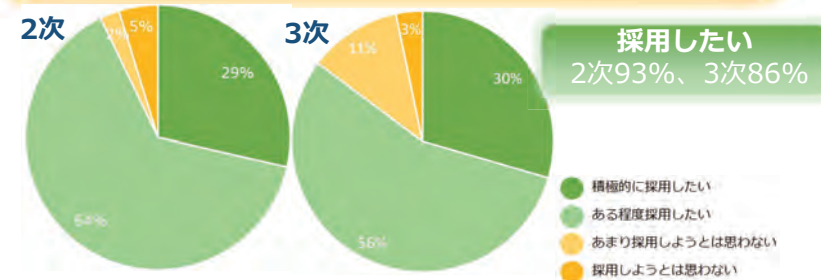
魅力を感じる理由



データサイエンスを修得した人材はどの程度必要か



データサイエンス経営学環（仮称）の卒業生を採用したいと思うか



### 地域の高校生および企業・団体等に対するアンケート調査のまとめ

- ・「データサイエンス経営学環（仮称）」に、高校生 60%（文系56%、理系64%）、企業・団体等 91%（第2次産業95%、第3次産業88%）が魅力を感じている
- ・そもそも「データサイエンスが何か」を知らない高校生が多い（33%） → 高校生に対する認知度の向上を図っていく必要がある
- ・高校生と企業・団体等共に経営学を学ぶ国立大学が栃木県内にあることに魅力を感じる（20%程度）
- ・企業・団体等は、データサイエンスを修得した人材が必要（第2次産業83%、第3次産業78%）であり、データサイエンス経営学環の卒業生を採用したいと思っている（第2次産業93%、第3次産業86%）

令和4年2月〇日

## 宇都宮大学データサイエンス経営学環（仮称）の設置に 関するアンケート実施のお願い

株式会社〇〇〇〇 御中

宇都宮大学 理事・副学長 吉澤 史昭

拝啓

大寒の候、貴社（貴団体）におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、本学の教育・研究活動に関するご理解とご協力ならびに本学学生の就職に関しまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。さて、本日は貴社（貴団体）に対するアンケート調査をお願いしたく、ご連絡いたしました。

本学には、栃木県内の高校生の進学分野（大学）として大きいシェアを占める商学・経済学分野の教育組織がなく、若者のニーズ、またこの分野の人材を求める地元産業界のニーズに 대응できていませんでした。商学・経済学分野の中でも経営学は、企業や組織を管理・運営するための手法・論理を研究する学問であり、事業を創出できる経営人材は企業にとっては財産ともいえます。

一方、現在内閣府、文部科学省、及び経済産業省の3府省が連携して、各大学・高等専門学校に対する「数理・データサイエンス・AI（人工知能）教育プログラム認定制度」を創設するなど、デジタル社会の「読み・書き・そろばん」といわれる「数理・データサイエンス・AI」の教育基盤の整備が急速に進められています。ここで、「データサイエンス」とは、様々なデータを多面的に分析・解析し、必要とする情報、法則、関連性などを導き出す学問のことであり、様々な分野での応用が期待されています。データサイエンス能力をもった人材の育成は、社会的要請であり、特に産業界においては、急務といわれています。

このような状況の下、宇都宮大学では、令和6年（2024年）4月からデータサイエンスと経営学を学び文系・理系の枠を越えた複眼的な視点を養うことができる「データサイエンス経営学環（仮称）」の設置を構想しております。学環（学部等連係課程）とは、大学の各学部が有している教育・研究の資源を有効に活用しながら、それらを有機的に連係させて領域横断的な教育プログラムを実施する組織で、学環の卒業生には、学部卒業生と同じく「学士」の学位が与えられます。本学環の設置を計画するにあたり、貴社（貴団体）の採用に対する方針やこれから育成して欲しい人材等に関するご意見をお伺いし、より充実した教育プログラムを設計していきたいと考えております。

つきましては、別紙に示した要領にて、アンケートの実施にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。なお、アンケートの内容は、添付資料のようになっております。何卒、よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、貴社（貴団体）のますますのご発展をお祈り申し上げます。

敬具

## 宇都宮大学データサイエンス経営学環（仮称）の設置に関する アンケート実施要領（企業・団体等）

### 【目的】

宇都宮大学では、令和6年（2024年）4月からデータサイエンスと経営学を学ぶことができる「データサイエンス経営学環（仮称）」の設置を構想しています。このアンケートは、企業等の皆さまのご意向をお伺いし、宇都宮大学の教育組織をさらに充実させるための参考とさせていただくものです。

このアンケートで得られた情報は、統計資料としてのみ利用し、会社等が特定されることは一切ありません。アンケートへのご協力をお願いいたします。

### 【回答方法】

Google Forms を利用したインターネットアンケートとなります。下の URL にアクセスして、回答をしてください。回答時間は、5分程度です。

<https://bit.ly/3tr3FvZ>



### 【調査期間】

令和4年（2022年）2月17日（木）まで

### 【問い合わせ先】

宇都宮大学戦略企画室 福田 将

電話：028-649-8636、Eメール：sho-fkd@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

ご協力ありがとうございました。

# 宇都宮大学データサイエンス経営学環 (仮称)に関するアンケート(企業向け)

宇都宮大学では、令和6年(2024年)4月からデータサイエンスと経営を学ぶことができる「データサイエンス経営学環(仮称)」の設置を構想しています。このアンケートは、企業等の皆さまのご意向をお伺いし、宇都宮大学の教育組織をさらに充実させるための参考とさせていただくものです。このアンケートで得られた情報は、統計資料としてのみ利用し、会社等が特定されることは一切ありません。アンケートへのご協力をお願いいたします。

\*必須

1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。\*

1つだけマークしてください。

- 採用の決裁権があり、採用にかかわっている
- 採用の決裁権はあるが、採用にかかわっていない
- 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
- 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある
- 無回答

2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。\*

---

3。 貴社・貴団体の業種についてご回答ください。 \*

1つだけマークしてください。

- 農・林・漁・鉱業
- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業
- 卸売・小売業
- 金融・保険業
- 不動産業
- 飲食店・宿泊業
- 医療・福祉
- 複合サービス事業
- サービス業
- その他
- 無回答

4。 貴社・貴団体の従業員数（正規社員）について、ご回答ください。 \*

1つだけマークしてください。

- 50名未満
- 50名～99名
- 100名～299名
- 300名～999名
- 1,000名以上
- 無回答

5. 貴社・貴団体は、毎年どれくらいの新卒者（大卒）を採用しているか教えてください。\*

1つだけマークしてください。

- 0名
- 1名～4名
- 5名～9名
- 10名～19名
- 20名～29名
- 30名～49名
- 50名～99名
- 100名以上
- 無回答

6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。\*

1つだけマークしてください。

- 増やす
- 昨年度並み
- 減らす
- 未定
- 採用予定なし
- 見送り（中止）
- 無回答

7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか（複数回答可）。貴社・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか（複数回答可）。ここで、下の項目にある「データサイエンス」とは、数学、統計学、機械学習、プログラミングなどを活用して、様々なデータを多面的に分析・解析し、必要とする情報、法則、関連性などを導き出す学問のことであり、様々な分野での応用が期待されています。\*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 政治学
- 経済学
- 経営学
- 上記以外の社会科学（法学，社会学，観光学など）
- 教員養成・教育学
- 生活科学
- 芸術学
- 農学（水産学を含む）
- 工学①（機械，電気・電子，情報，応用化学など）
- 工学②（建築・土木・環境工学など）
- 総合科学（人間科学などを含む）
- 文学・語学
- 国際関係学
- 看護・保健学
- 医・歯・薬学
- 理学（数学，物理学，天文学，化学，生物学など）
- データサイエンス
- その他
- 学部や学問系統にはこだわらない
- 無回答



8. 貴社・貴団体では、どのような能力や資質のある人物を採用したいとお考えですか（複数回答可）。\*

当てはまるものをすべて選択してください。

- データサイエンススキル（情報処理、人工知能(AI)、統計学などの知識を理解し、様々なデータの分析に活用する能力）
- マネジメントスキル（経営者視点から企業経営を俯瞰的に見る能力）
- ITスキル（パソコンスキルを含む）
- コミュニケーション能力
- 自分から進んでものごとに取り組む力
- 困難なものごとにもチャレンジ精神をもって取り組む力
- 問題に対し、多方面から分析し解決策を考える力
- 専門的な知識・技術
- チームをリードする力
- ものごとの問題点を見つける力
- 幅広い教養
- プレゼンテーション能力
- 地域貢献・社会貢献への高い意欲
- 英語力
- 国際的な視野
- その他

9. 次世代の「読み書きそろばん」といわれている「数理・データサイエンス・AI」を修得した人材について、貴社・貴団体では、必要とされていますか。もしくは、今後、必要になるとお考えですか。\*

1つだけマークしてください。

- 非常に必要である 質問 10 にスキップします
- ある程度必要である 質問 10 にスキップします
- ほとんど必要ない 質問 11 にスキップします
- 全く必要ない 質問 11 にスキップします
- そもそも「数理・データサイエンス・AI」というものがよくわからない  
質問 12 にスキップします

数理・データサイエンス・AIが「必要である」理由

10. 「数理・データサイエンス・AI」について「必要である」と回答した理由をお教えください（複数回答可）。\*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 多くの部署で必要とされる知識だから  
 部署によっては必要とされる知識だから  
 今後必要となる知識だと考えられるから

その他:  \_\_\_\_\_

質問 12 にスキップします

#### 数理・データサイエンス・AIが「必要ない」理由

11. 「数理・データサイエンス・AI」について「必要ない」と回答した理由を教えてください（複数回答可）。\*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 全ての部署で必要とされない知識だから  
 ほとんどの部署で必要とされない知識だから  
 今後必要となる知識とは考えられないから

その他:  \_\_\_\_\_

質問 12 にスキップします

#### 学環について

12. 新たな教育・研究組織として「学部等連係課程（学環）」というものがありますがお聞きになったことがありますか。学環とは、大学の各学部が有している教育・研究の資源を有効に活用しながら、それらを有機的に連係させて領域横断的な教育プログラムを実施する組織です。学環の卒業生も、学部卒業生と同じく「学士」の学位が与えられます。\*

1つだけマークしてください。

- 聞いたことがある  
 聞いたことがない

13. 宇都宮大学では、既存の学部の教育・研究資源を活かしながら、経営学とデータサイエンスを学ぶことができる「データサイエンス経営学環（仮称）」の設置を計画しています。貴社・貴団体として、どの程度魅力を感じますか。これから Society 5.0 時代が到来し、産業構造が大きく変化していくことが予測される中、データサイエンス経営学環（仮称）では、データサイエンスを基にした分析・解析能力と経営学の知識を兼ね備えた人材を育成していきます。\*

1つだけマークしてください。

- とても魅力を感じる 質問 14 にスキップします
- ある程度魅力を感じる 質問 14 にスキップします
- あまり魅力を感じない 質問 15 にスキップします
- まったく魅力を感じない 質問 15 にスキップします

学環について「魅力を感じる」理由

14. 「データサイエンス経営学環」について「魅力を感じる」と答えた理由をお教えてください（複数回答可）。\*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 経営学の知識が必要だから
- データサイエンスの知識が必要だから
- 経営学とデータサイエンスの知識が共に必要だから
- 経営学を教える国立大学が栃木県内にないから

その他:  \_\_\_\_\_

質問 16 にスキップします

学環について「魅力を感じない」理由

15. 「データサイエンス経営学環」について「魅力を感じない」と答えた理由をお教えください（複数回答可）。\*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 経営学の知識は必要ないから  
 データサイエンスの知識は必要ないから  
 経営学とデータサイエンスの知識が共に必要ないから  
 経営学を教える大学は私立大学を含め他にもあるから  
その他:  \_\_\_\_\_

質問 16 にスキップします

学環卒業生に対する採用意向について

16. 貴社・貴団体は、「データサイエンス経営学環」の卒業生について、どの程度採用したいと思いますか。\*

1つだけマークしてください。

- 積極的に採用したい  
 ある程度採用したい  
 あまり採用しようとは思わない  
 採用しようとは思わない

---

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

---

---

宇都宮大学  
「データサイエンス経営学部  
データサイエンス経営学科」(仮称)  
設置に関するニーズ調査  
結果報告書  
【高校生対象調査】

---

---

令和5年1月  
株式会社 進研アド

# 高校生対象 調査概要

## 1. 調査目的

2024年4月開設予定の宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」新設構想に関して、高校生の進学ニーズを把握する。

## 2. 調査概要

		高校生対象調査
調査対象		高校2年生
調査エリア		福島県、茨城県、栃木県、埼玉県
調査方法		高校留置き調査
調査対象数	依頼数 (依頼校数)	3,780人(28校)
	有効回収数 (回収校数)	3,112人(28校) 有効回収率:82.3%
調査時期		2022年10月11日(火)～2022年11月18日(金)
調査実施機関		株式会社 進研アド

## 3. 調査項目

高校生対象調査
<ul style="list-style-type: none"><li>・性別</li><li>・高校種別</li><li>・高校所在地</li><li>・所属クラス</li><li>・高校卒業後の希望進路</li><li>・興味のある学問系統</li><li>・宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の特色に対する魅力度</li><li>・宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」への受験意向</li><li>・宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」への入学意向</li><li>・宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の選択したい学系</li></ul>

## 高校生対象 調査結果まとめ



# 高校生対象 調査結果まとめ

## 回答者の属性

※本調査は、宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」に対する需要を確認するための調査として設計。宇都宮大学の主な学生募集エリアである福島県、茨城県、栃木県、埼玉県に所在する高校の高校2年生に調査を実施し、3,112人から回答を得た。

- 回答者の性別は「男性」が49.2%、「女性」が49.7%、「どちらにもあてはまらない」が0.9%である。
- 回答者の在籍高校種別は「公立」が87.5%、「私立」が12.5%である。
- 回答者の在籍高校所在地は、宇都宮大学の所在地である「栃木県」が75.4%で最も多い。次いで「茨城県」が12.8%、「福島県」が9.4%と続く。
- 回答者の所属クラスは「理系クラス(理系コース)」が52.0%を占め、最も多い。次いで「文系クラス(文系コース)」が45.8%と続く。

## 高校卒業後の希望進路や興味のある学問系統

- 回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「国公立大学に進学」の割合が83.2%で最も高い。次いで「私立大学に進学」が38.7%、「専門学校・専修学校に進学」が4.3%と続く。国公立大学への進学志望者が多いことから、宇都宮大学がターゲットとする対象に調査を実施出来ていると考えられる。
- 回答者の興味のある学問系統を複数回答で聴取したところ、「工学」が23.3%で最も高い。次いで「理学」が19.4%、「経済学・商学」が17.9%と続く。「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の学びと関連する「データサイエンス」は10.7%、「経営学」は13.7%である。



## 高校生対象 調査結果まとめ

### 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の特色に対する魅力度

- 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の学部共通の特色に対する魅力度(※)は、3項目すべて7割を超える。

学部共通の特色のうち最も魅力度が高いのは、「B. 受験時及び入学時には学系を決定せず、入学後にデータサイエンス及び経営学の基礎知識を修得した上で、教員のアドバイスを受けながら、一人ひとりの志向に合わせて、「データサイエンス学系」「経営学系」のいずれかを選択します。」(80.9%)である。

次に魅力度が高いのは、「C. 実務家による講義や地元企業等でのインターンシップなど、現場の課題解決に向けたより実践的な能力が身に付けられます。」(80.7%)、さらに「A. データサイエンス、経営学及び地元企業等での実践科目を配した学位プログラムとなっており、文理複眼的な視野が身に付けられます。」(75.2%)と続く。

- データサイエンス学系の2つの特色のうち魅力度がより高いのは、「D. 経営学の基礎知識を修得した上で、統計解析、プログラミング、AI・機械学習について深く学んでデータサイエンスの専門性を深めることにより、データ科学に立脚した企業経営・組織運営の改善提案や意思決定ができる能力が身に付けられます。」(75.2%)である。

「E. 卒業後の就職先は、データサイエンティスト、データエンジニア、クオンツ(金融・証券業界の数理分析専門家)、システムエンジニア、プログラマーなどが想定されています。」は68.4%である。

- 経営学系の2つの特色のうち魅力度がより高いのは、「G. 卒業後の就職先は、営業・企画管理者、公認会計士、税理士、経営コンサルタント、起業家、公務員などが想定されています。」(76.2%)である。

「F. データサイエンスの基礎技術を身に付けた上で、経営学を体系的に深く学んで専門性を深めることにより、理論・技術と地域産業等における課題とを結びつけた提案・実装ができる能力が身に付けられます。」は75.1%である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

## 高校生対象 調査結果まとめ

### 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」への受験意向・入学意向

- 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」を「受験したいと思う」と答えた人は、16.1% (3,112人中、**500人**)である。
- 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」を「受験したいと思う」と答えた500人のうち、宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」に「入学したいと思う」と回答した人は、53.6% (**268人**)である。

### 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」への入学意向者数

- ※ここからは、宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「入学したいと思う」と回答した人を宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の入学意向者と定義し、分析を行う。
- 回答者全体における「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」への入学意向は8.6% (**268人**)で、予定している入学定員数55人を4倍以上上回る入学意向者がみられた。

<属性別>

◇性別

- 「男性」の回答者の入学意向は11.4% (1,530人中、**174人**)と、予定している入学定員数を3倍以上上回る入学意向者がみられた。「女性」の回答者の入学意向は5.9% (1,547人中、**92人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

◇高校所在地別

- 宇都宮大学の所在地である「栃木県」の高校在籍者からの入学意向は8.9% (2,347人中、**209人**)と、予定している入学定員数を3倍以上上回る入学意向者がみられた。

## 高校生対象 調査結果まとめ

---

### ◇所属クラス別

- 「文系クラス(文系コース)」に所属している回答者の入学意向は8.8%(1,425人中、**126人**)、「理系クラス(理系コース)」に所属している回答者の入学意向は8.3%(1,619人中、**135人**)と、いずれも予定している入学定員数を2倍以上上回る入学意向者がみられた。

### ◇高校卒業後の希望進路別

- 宇都宮大学を受験・入学する可能性が高い「国公立大学に進学」を考えている回答者の入学意向は9.1%(2,588人中、**235人**)と、予定している入学定員数を4倍以上上回る入学意向者がみられた。「私立大学に進学」を考えている回答者の入学意向は7.6%(1,205人中、**91人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

### ◇興味のある学問系統別

- 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の学びと関連する「データサイエンス」に興味がある回答者の入学意向は29.2%(332人中、**97人**)、「経営学」に興味がある回答者の入学意向は21.5%(427人中、**92人**)と、どちらも予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

### ◇宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の特色に対する魅力度別

- 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の特色に魅力を感じている回答者の入学意向は、いずれの特色でも10%を超えており、入学意向者数はすべて、予定している入学定員数を4倍以上上回る入学意向者がみられた。

## 高校生対象 調査結果まとめ

### さらに精緻な条件下での、宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」への入学意向者数

※入学意向者の条件をさらに精緻に設定して、Q1で「国公立大学に進学」と回答し、かつ、Q2で「データサイエンス」「経営学」のうち少なくとも1つに興味があると回答した、宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の入学意向者について分析する。

- 回答者全体における精緻な条件下での入学意向は23.5% (574人中、135人)で、予定している入学定員数55人を2倍以上上回る入学意向者がみられた。そのうち、「データサイエンス」に興味がある回答者の入学意向は28.6% (308人中、88人)、「経営学」に興味がある回答者の入学意向は23.1% (333人中、77人)と、いずれも予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。ターゲットの条件をより精緻に限定しても、予定している入学定員数55人を超える入学意向者がみられた。

### 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の選択したい学系

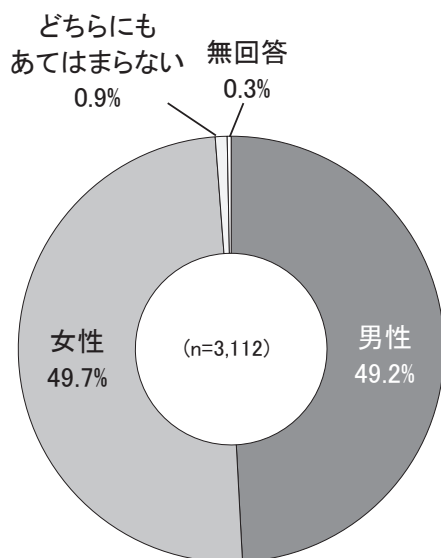
- 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」に受験意向があり、かつ入学意向を示した人(268人)に対して、入学後に選択したい学系を聴取したところ、「データサイエンス学系」を選択したい人は34.7% (93人)、「経営学系」を選択したい人は28.7% (77人)、「入学したのち両方の基礎を学んだ上で、選択する「学系」を考えたい」人は36.2% (97人)である。

## 高校生対象 調査結果

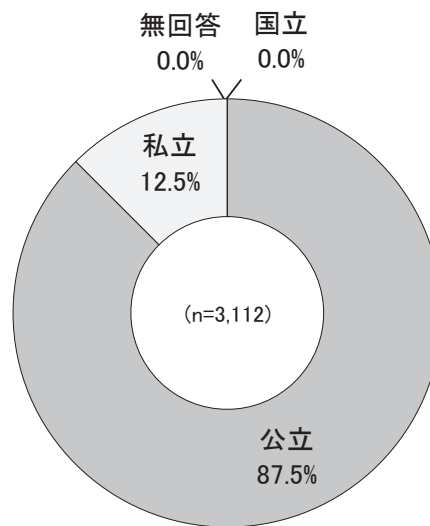


# 回答者の属性(性別/高校種別/高校所在地/所属クラス)

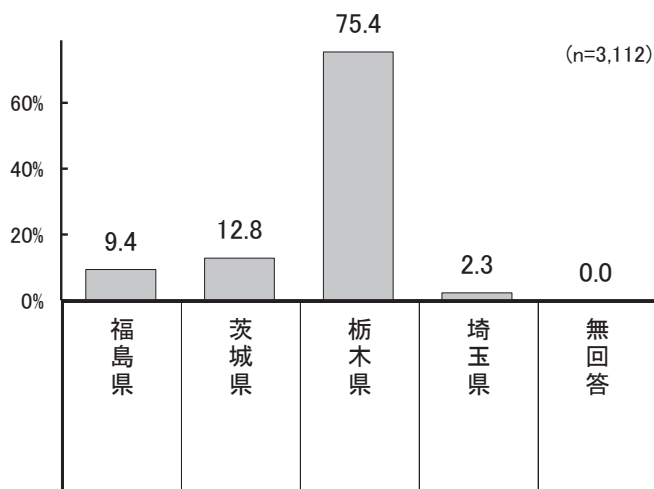
## ■性別



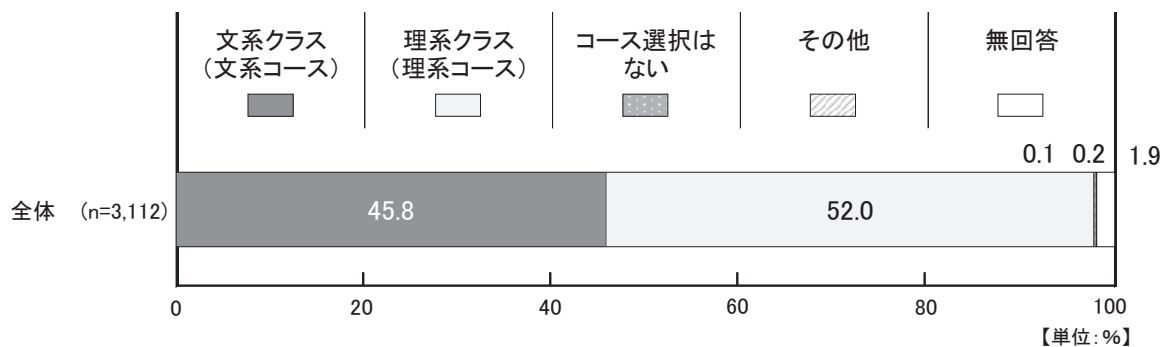
## ■高校種別



## ■高校所在地



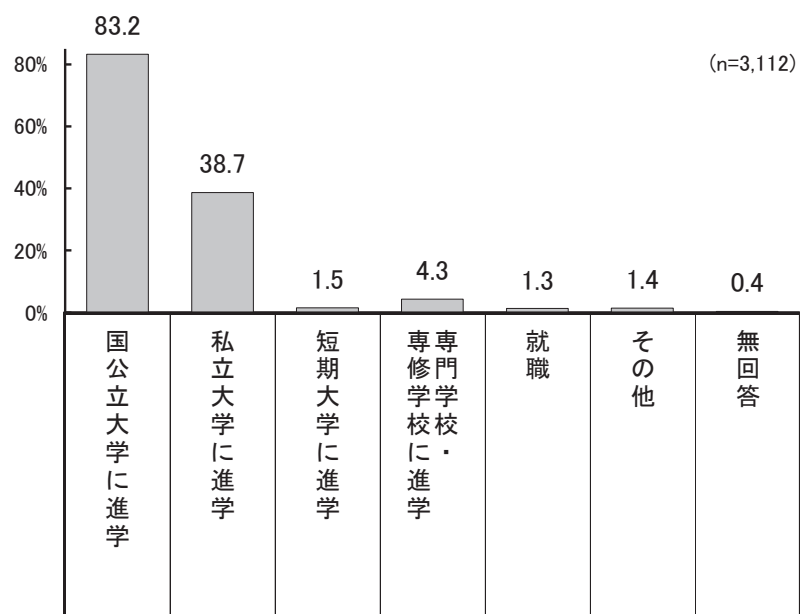
## ■所属クラス



# 高校卒業後の希望進路

## ■高校卒業後の希望進路

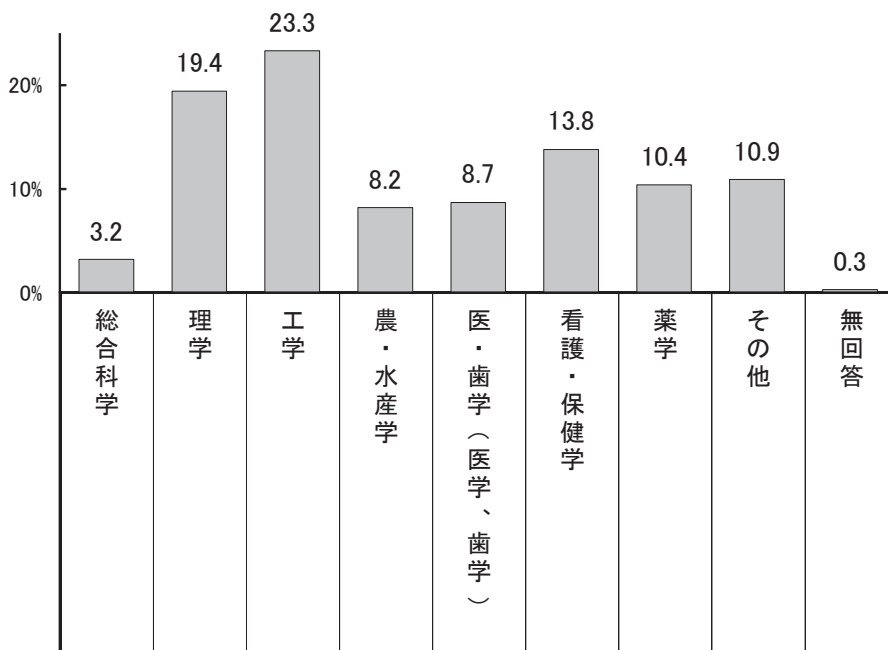
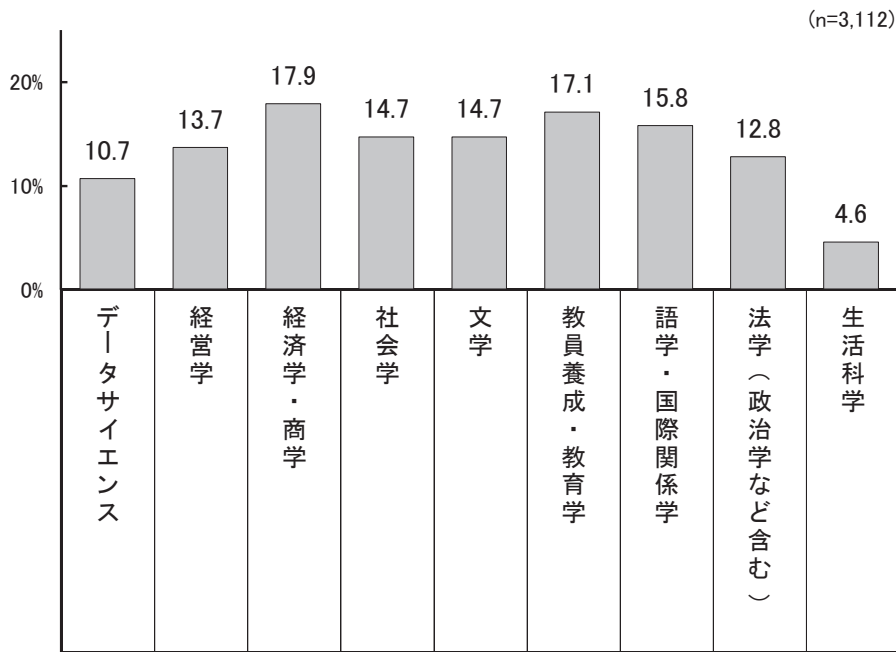
Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)



# 興味のある学問系統

## ■興味のある学問系統

Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)(現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)  
 ※以下の項目にある「データサイエンス」とは、様々なデータを多面的に分析・解析し、必要とする情報、法則、関連性などを導き出す学問のことをいいます。

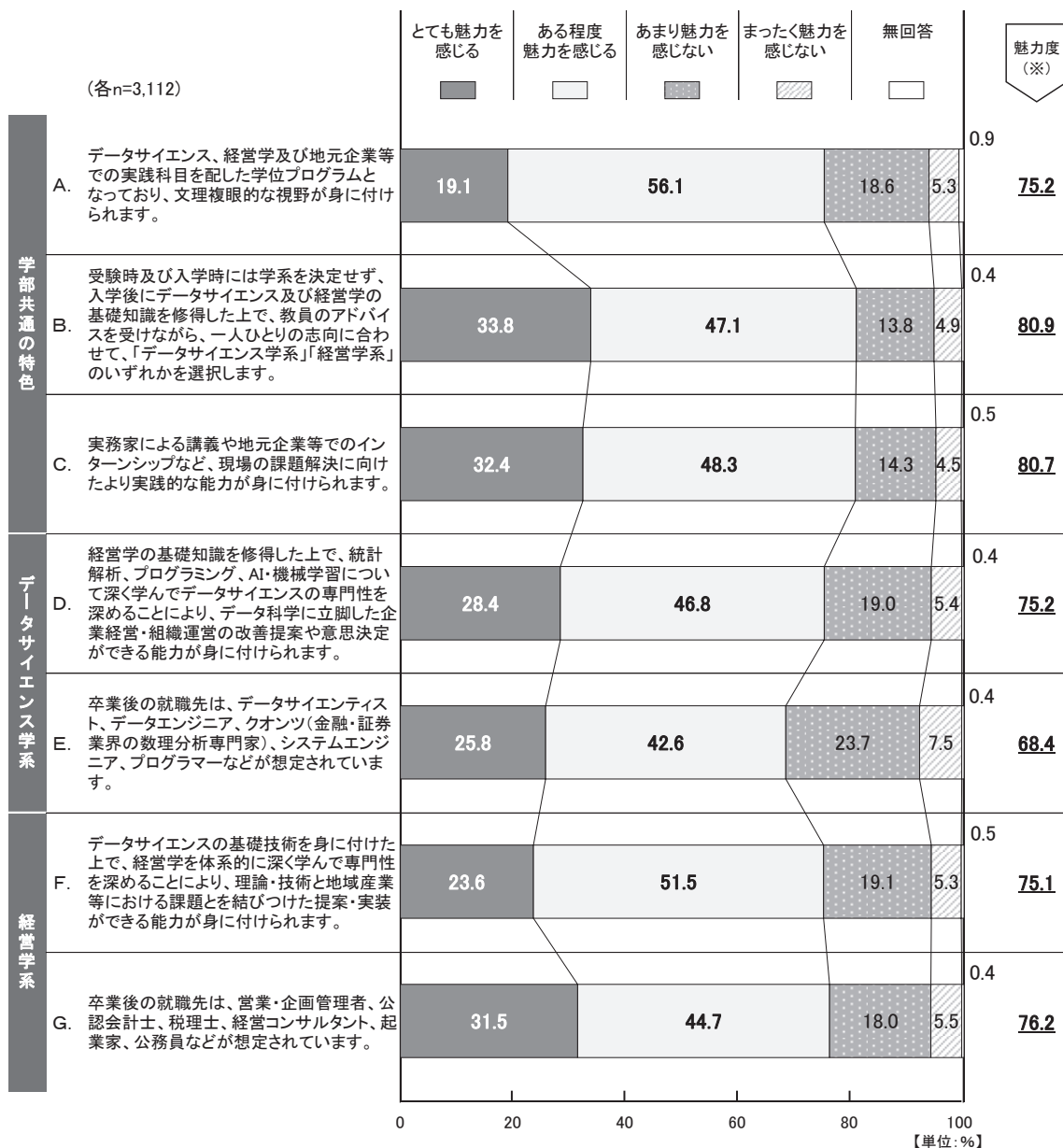




# 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の特色に対する魅力度

## ■宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の特色に対する魅力度

Q3. 宇都宮大学 データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科(仮称)には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



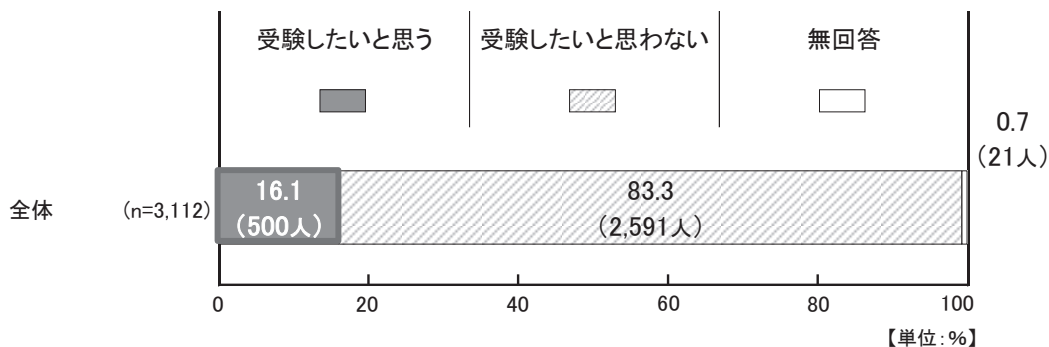
※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに％を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

# 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」への受験意向／入学意向／受験意向別入学意向

## ■宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」への受験意向

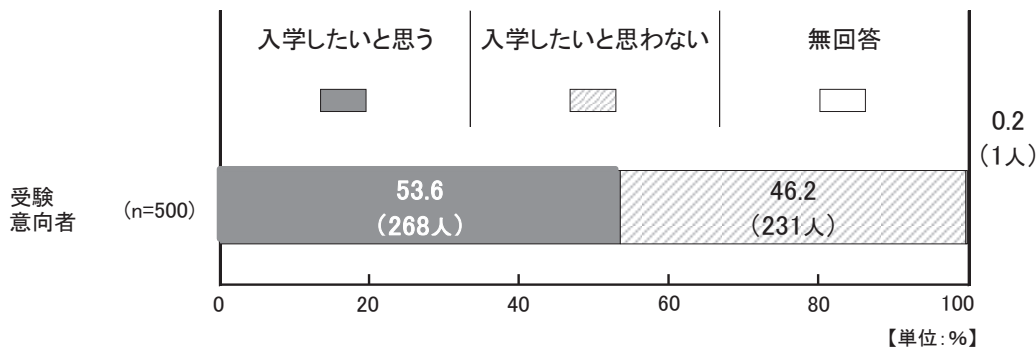
Q4. あなたは、宇都宮大学 データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科(仮称)を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



「受験したいと思う」と答えた500人のみ抽出

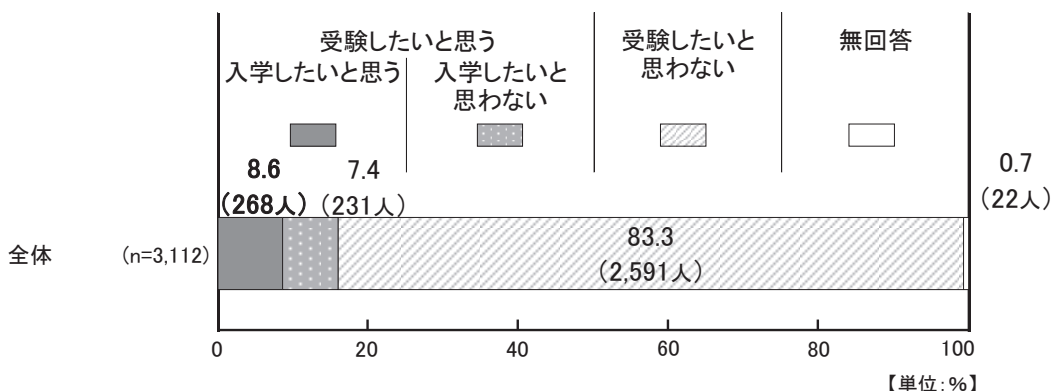
## ■宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」への入学意向

Q5. あなたは、宇都宮大学 データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科(仮称)に合格したら、併願校よりも入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



「受験意向(Q4)」と「入学意向(Q5)」を  
かけあわせて集計(母数は全回答者)

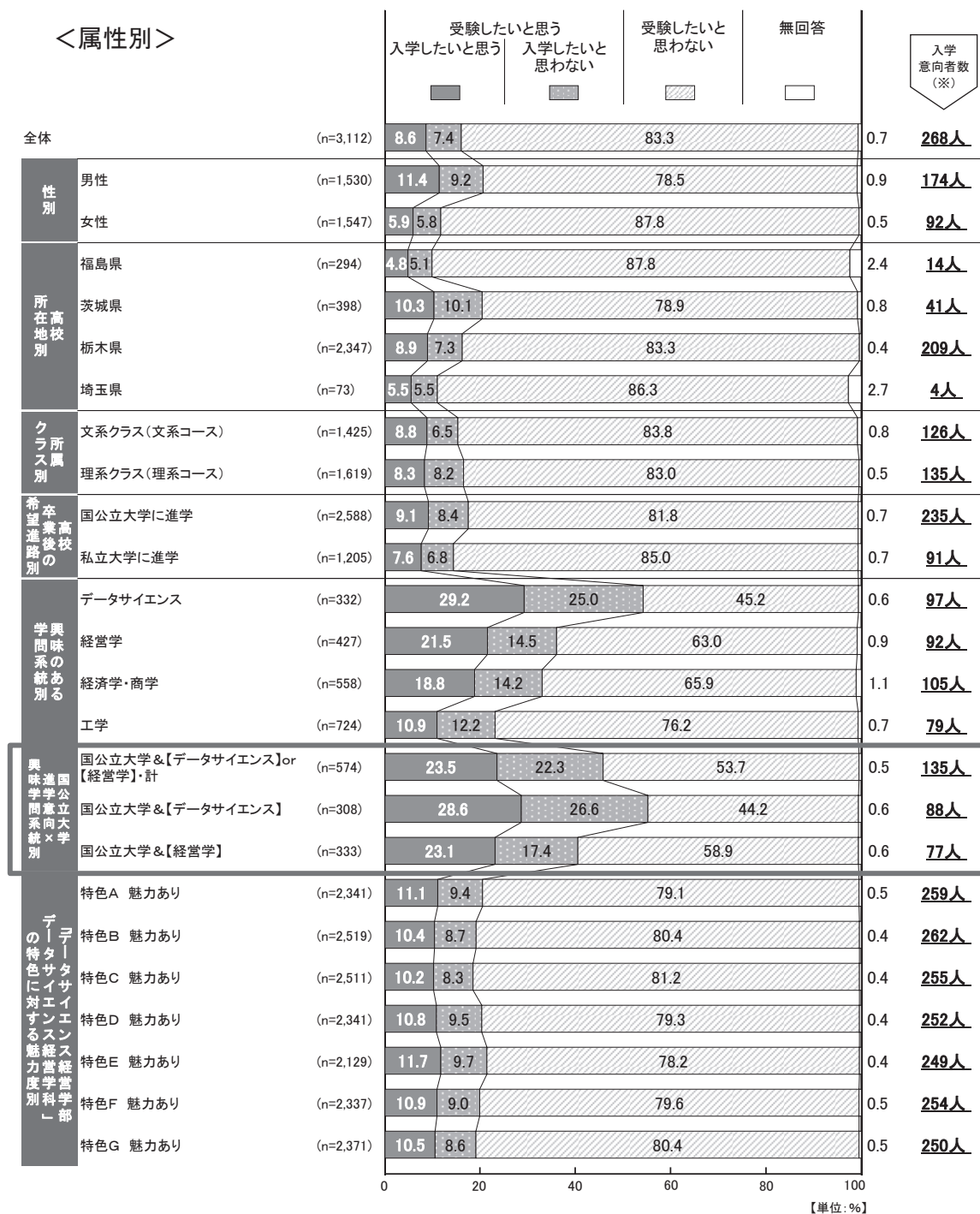
## ■宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」への受験意向別入学意向



# 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」への受験意向別入学意向<属性別>

## ■宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」への受験意向別入学意向<属性別>

※宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「入学したいと思う」と回答した人を宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の入学意向者と定義する。



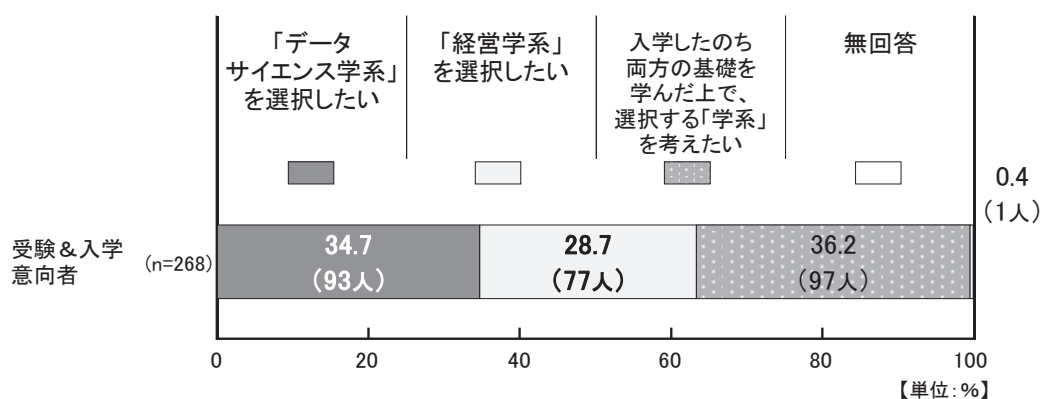
※入学意向者数＝「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」と回答した人の人数

# 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の選択したい学系

## ■宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の 選択したい学系

Q6. 宇都宮大学 データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科(仮称)では、2年次前期までは全員共通でデータサイエンスと経営学の基礎を学んだのち、2年次後期からはデータサイエンス または 経営学のいずれかの「学系」を選択し、自身の志向に応じた専門性を深めます。  
あなたは、宇都宮大学 データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科(仮称)に入ったら、どちらの「学系」を選択したいと思いますか。あなたの気持ちに近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」と答えた268人のみ抽出



## 卷末資料 調查票



# 調査票

## 宇都宮大学 データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科(仮称)に関するアンケート

宇都宮大学では2024年(令和6年)4月より、「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」(仮称)を設置することを構想しています。  
このアンケートは、高校生みなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお伺いし、宇都宮大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。  
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。  
※ このアンケートや同封した資料に記載されている「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」(仮称)に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

### 記入要領

1. 回答は、あてはまる番号に「○」印をつけてください。
2. この用紙は、電算処理しますので汚さないようにしてください。
3. 記入は、必ず鉛筆又はシャープペンシルで濃く書いてください。
4. 下記の【良い記入例】にしたがって記入してください。  
特に、「○」印は、番号丸枠からはみ出さないようにつけてください。

ここに○印をつけてください

ID 60

この欄には記入しないでください

データサイエンス

良い記入例 ○ データサイエンス  
② 経営学

悪い記入例 ① データサイエンス  
○ 経営学

① ○ データサイエンス  
② 経営学

① データサイエンス  
② 経営学

### ◆最初にあなた自身についてお聞きします。

性別 (1つに○)	① 男性 ② 女性 ③ どちらにもあてはまらない	学年 (1つに○)	① 1年生 ② 2年生 ③ 3年生
在籍している 高校名	高校所在地 [ ] 都・道・府・県 (←1つに○) ① 国立 ② 公立 ③ 私立 (←1つに○) [ ] 高等学校		
所属クラス (1つに○)	① 文系クラス(文系コース) ③ コース選択はない ② 理系クラス(理系コース) ④ その他		

### ◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

Q1 あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。  
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)

- ① 国公立大学に進学 ③ 短期大学に進学 ⑤ 就職  
② 私立大学に進学 ④ 専門学校・専修学校に進学 ⑥ その他

Q2 あなたは、どのような学問に興味がありますか。以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)(現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)  
※以下の項目にある「データサイエンス」とは、様々なデータを多面的に分析・解析し、必要とする情報、法則、関連性などを導き出す学問のことをいいます。

- ① データサイエンス ⑦ 語学・国際関係学 ⑬ 農・水産学  
② 経営学 ⑧ 法学(政治学など含む) ⑭ 医・歯学(医学、歯学)  
③ 経済学・商学 ⑨ 生活科学 ⑮ 看護・保健学  
④ 社会学 ⑩ 総合科学 ⑯ 薬学  
⑤ 文学 ⑪ 理学 ⑰ その他  
⑥ 教員養成・教育学 ⑫ 工学

裏面へ続く→

1



### 取得学位

- 学士(経営情報学)

### 想定される進路

データサイエンティスト、データエンジニア、クオントツ(金融・証券業界の数理分析専門家)、システムエンジニア、プログラマー、データアナリスト、生産設備制御・監視者、研究職、経営アナリスト、金融・保険専門職、マーケティング、営業・企画管理者、公認会計士、税理士、経営コンサルタント、起業家、公務員 など

### 学費(予定)

項目	金額
入学科	282,000円 (入学時のみ)
授業料	年間 535,800円

### 類似する学部・学科

- 群馬大学 情報学部 情報学科
- 横浜市立大学 データサイエンス学部 データサイエンス学科
- 高崎経済大学 経済学部 経営学科
- 茨城大学 人文社会科学部 法律経済学科
- 福島大学 共生システム理工学類

## ACCESS

### 峰キャンパス

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350 (JR宇都宮駅から徒歩2.2km)

#### JR宇都宮駅西口から

**3番乗り場 (JRバス)** 清原台団地行、芳賀町役場行、祖母井行、茂木行、ベルモール行など  
乗車時間約15分「宇大前」下車徒歩1分

**14番乗り場 (関東バス)** 真興行、益子行、海星学院行、ベルモール行など  
乗車時間約15分「宇都宮大前」下車徒歩1分

#### JR宇都宮駅東口から

**3番乗り場 (関東バス)** 宇大循環線(左回り)、乗車時間約10分「宇都宮大前」下車徒歩1分  
宇大循環線(右回り)、乗車時間約25分「宇都宮大前」下車徒歩1分

**4番乗り場 (関東バス)** 卸団地循環線  
乗車時間約8分「宇都宮大前」下車徒歩1分

タクシー 約5分

#### 東武宇都宮駅から

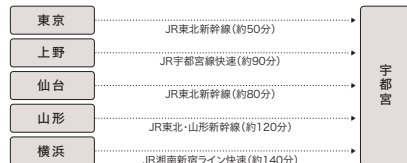
**1番乗り場 (関東バス)** すべての便  
乗車時間約25分「宇都宮大前」下車徒歩1分

**東武駅前 (JRバス)** 清原台団地行、芳賀町役場行、祖母井行、茂木行、ベルモール行など  
乗車時間約20分「宇大前」下車徒歩1分

タクシー 約10分



#### ■ 主要駅からJR宇都宮駅へのアクセス



お問い合わせ 宇都宮大学学務部(新学部設置準備担当)  
TEL:028-649-5481 E-mail:junbi@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp  
https://www.utsunomiya-u.ac.jp

- 地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科/建築都市デザイン学科/社会基盤デザイン学科
- 国際学部 国際学科
- 共済教育学部 学校教育教員養成課程
- 工学部 基礎工学科(物質環境化学コース/機械システム工学コース/情報電子オブティクスコース)
- 農学部 生物資源科学科/応用生命化学科/農業環境工学科/農業経済学科/森林科学科

※記載の内容は構想中のものであり、今後、変更となる場合があります。

地域の産業を  
支える、  
新たな学び。



# データサイエンス 経営学部

(仮称 設置構想中)

2024年 4月開設(予定)

入学定員 55名(予定)





2024年  
4月開設  
(予定)

宇都宮大学

# データサイエンス経営学部

※仮称 設置構想中

入学定員  
55名(予定)

## データサイエンスと経営学の実践的な知識を身に付け、課題解決・価値創造できる人材を育成します。

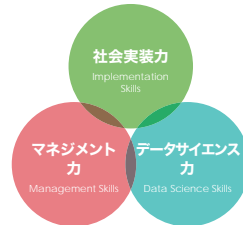
デジタル化・グローバル化が急速に進む中、Society5.0社会の到来を目前にして、データサイエンスの素養を持った人材への需要が高まっています。また、少子高齢化・人口減少など地域課題も複雑化する現代において、未来志向で地域社会の発展をリードできる人材育成が必要不可欠となっています。

2024年に開設予定の「データサイエンス経営学部(仮称 設置構想中)」では、データサイエンスの素養を持ち、基礎的経営学をベースに実践的な知識を身に付けた、課題解決や価値創造につなげられる「データサイエンス及び経営学の専門家」を新たに育成します。

## これからの地域産業を支え続けるために、必要な力

地域を豊かにする「社会実装力」とは？  
=目の前の社会をより良くするための課題発見・解決力

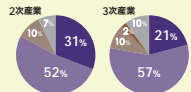
マネジメント力とデータサイエンス力を兼ね備えることが、社会実装力の基盤となる！



### トピックス 地元企業もデータサイエンスを修得した人材の必要性を感じている！

Q. データサイエンスを修得した人材はどの程度必要か？

必要である 2次産業 83% / 3次産業 78%



※直近で宇都宮大学に求人情報の提供があった栃木県内の企業(団体等(従業員数100名以上)に対するアンケート調査を実施。送付数:307社(回答企業(団体数):104社。

- 非常に必要である
- ある程度必要である
- ほとんど必要ない
- まったく必要ない
- そもそも「数据」・「データサイエンス・AI」というものをよく知らない

## 育成する人材像

### データサイエンスの素養と経営学の素養を兼ね備え、複眼的視野を持った経営人材

宇都宮大学の学位授与方針(タイプA・ポリシー)のもと、データサイエンス経営学部(仮称 設置構想中)では、「宇大スタンダード」に定める汎用的能力(学修力・情報活用力・論理的思考力・表現力・協働力・課題解決力)と、右記のような専門分野に関する知識・技能を獲得した学生に「学士(経営情報学)」の学位を授与する。

- ✓ 企業の諸課題を見つけ出し、その解決策をデータに基づき、理論的かつ実践的に提案できる。
- ✓ 経営学とデータサイエンスに関する基礎学力を修得し、複眼的かつ総合的な視野からマネジメントを理解し、データを利活用できる。
- ✓ リーダーシップを発揮し、データをビジネスにおける諸課題の解決や意思決定等に反映し、新たな価値が創造できる。

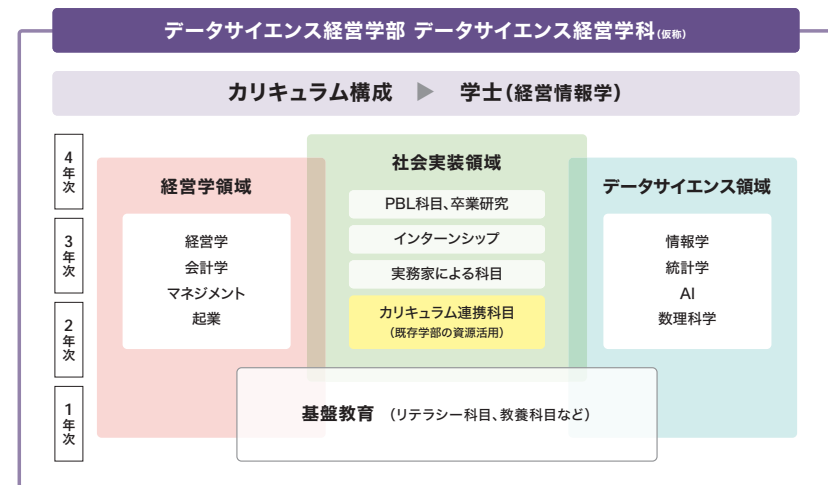
## 学びの特色

- 受験時及び入学時には学系を決定せず、入学後に教員のアドバイスを受けながら、一人ひとりの志向に合わせた進路を決定
- 2分野の専門基礎を学んだのち、2年次後期時点で「データサイエンス学系」「経営学系」のいずれかを選択
- 「データサイエンス学系」では、データ科学に立脚した企業経営・組織運営の改善提案や意思決定ができる高度IT人材を育成
- 「経営学系」では、理論・技術と地域産業等における課題とを結びつけた提案・実装ができる、企業・公共人材を育成
- 演習系科目は学部全体で実施し、互いの専門性を持ち寄りながら協働するマインドを養成
- 地元企業等でのインターンシップや実務家による教育など、現場の課題解決に向けた授業を実施

## カリキュラム構成

カリキュラムには、「データサイエンス領域」「経営学領域」、そしてそれらに応用する「社会実装領域」のそれぞれの専門科目が配置されます。データサイエンスと経営学の基礎となる科目は必修科目としてすべての学生が履修し、複眼的視野の礎とします。

その後は、「データサイエンス学系」と「経営学系」に分かれ、それぞれの専門分野を深めつつ、地元企業等での演習科目、インターンシップや実務家による科目を学ぶことで社会実装力を身に付けていきます。また、既存学部の科目も履修し、視野を広げていくこともできます。



※記載の内容は構想中のものであり、今後、変更となる場合があります。

# 学生確保【資料4】

学部名	学科名	R4 (2022) 年度						R3 (2021) 年度						R2 (2020) 年度						H31 (2019) 年度						H30 (2018) 年度					
		募集 人員	志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	定員 充足率	募集 人員	志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	定員 充足率	募集 人員	志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	定員 充足率	募集 人員	志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	定員 充足率	募集 人員	志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	定員 充足率
地域デザイン科学部	コミュニティデザイン学科	50	209	131	56	53	1.060	50	210	143	72	50	1.000	50	176	118	55	51	1.020	50	273	177	54	51	1.020	50	197	136	60	53	1.060
	建築都市デザイン学科	50	192	133	63	61	1.220	50	104	96	63	50	1.000	50	187	151	60	50	1.000	50	155	120	55	53	1.060	50	140	112	54	53	1.060
	社会基盤デザイン学科	40	83	61	45	39	0.975	40	71	63	48	40	1.000	40	116	89	50	40	1.000	40	167	117	44	44	1.100	40	131	86	46	43	1.075
	計	140	484	325	164	153	1.092	140	385	302	183	140	1.000	140	479	358	165	141	1.007	140	595	414	153	148	1.057	140	468	334	160	149	1.064
国際学部	国際学科	90	296	283	107	96	1.066	90	225	219	109	90	1.000	90	290	280	107	97	1.077	90	289	278	106	95	1.055	90	306	293	104	97	1.077
	計	90	296	283	107	96	1.066	90	225	219	109	90	1.000	90	290	280	107	97	1.077	90	289	278	106	95	1.055	90	306	293	104	97	1.077
共同教育学部	学校教育教員養成課程	170	534	514	187	180	1.058	170	444	432	186	175	1.029	170	371	355	186	181	1.064	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	170	534	514	187	180	1.058	170	444	432	186	175	1.029	170	371	355	186	181	1.064	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
教育学部	学校教育教員養成課程	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	170	442	426	186	180	1.058	170	629	512	194	171	1.005
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	170	442	426	186	180	1.058	170	629	512	194	171	1.005
工学部	基盤工学科	315	784	596	376	338	1.073	315	622	549	373	316	1.003	315	655	576	360	319	1.012	315	710	627	371	331	1.050	-	-	-	-	-	-
	機械システム工学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	79	213	192	84	82	1.037
	電気電子工学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	79	192	146	90	79	1.000
	応用化学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83	223	154	95	80	0.963
	情報工学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	74	215	188	87	80	1.081
	計	315	784	596	376	338	1.073	315	622	549	373	316	1.003	315	655	576	360	319	1.012	315	710	627	371	331	1.050	315	843	680	356	321	1.019
農学部	生物資源科学科	63	183	132	69	65	1.031	63	151	110	80	63	1.000	63	149	127	72	66	1.047	63	220	190	72	63	1.000	63	205	167	71	65	1.031
	応用生命化学科	32	92	72	39	34	1.062	32	85	75	39	34	1.062	32	96	81	40	36	1.125	32	96	90	42	33	1.031	32	74	60	40	35	1.093
	農業環境工学科	32	76	60	41	35	1.093	32	64	53	46	32	1.000	32	69	61	39	32	1.000	32	116	104	39	35	1.093	32	81	64	40	35	1.093
	農業経済学科	36	109	84	43	37	1.027	36	98	88	57	39	1.083	36	115	105	49	37	1.027	36	146	133	44	41	1.138	36	139	127	46	42	1.166
	森林科学科	32	56	51	36	32	1.000	32	70	68	37	32	1.000	32	101	93	37	35	1.093	32	53	51	40	35	1.093	32	71	68	35	33	1.031
	計	195	516	399	228	203	1.041	195	468	394	259	200	1.025	195	530	467	237	206	1.056	195	631	568	237	207	1.061	195	570	486	232	210	1.076
合計		910	2,614	2,117	1,062	970	1.065	910	2,144	1,896	1,110	921	1.012	910	2,325	2,036	1,055	944	1.037	910	2,667	2,313	1,053	961	1.056	910	2,816	2,305	1,046	948	1.041

設置  
構想中

未来に向かって地域の産業を支え続ける

新  
学位プログラム



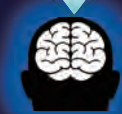
2024年  
4月  
START

## 国立大学法人 宇都宮大学 データサイエンス経営学部（仮称）

マネジメント力、データサイエンス力、インプリメンテーション力を  
携えた若き人材を育むインキュベータ



# Data Science Management



※記載の内容は構想中のものであり、今後、変更となる場合があります。

# 1 データサイエンス経営学部（仮称）の特色

- ◆ データサイエンス経営学部（仮称）は、データサイエンス及び経営学の素養を身に付け、実践的かつ科学的アプローチから課題を解決できる新たな経営人材を育成する学部です。データサイエンスの素養と経営学の素養を兼ね備え、複眼的視野を持った新たな経営人材を育成します。

# 2 文系・理系を問わない入学試験制度

**入学定員** データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 **55人**（予定）

- ◆ データサイエンス経営学部（仮称）は、高校で身に付けた文系・理系両方の能力を活用する学部です。文系志望者・理系志望者両方に配慮した入学試験を実施する予定です。
- ◆ 受験時及び入学時には学系を決定せず、入学後に教員のアドバイスを受けながら、一人ひとりの志向に合わせた進路を決定します。

# 3 個人の志向に合わせた『学系』選択

- ◆ 入学から2年次前期までは、学系に分かれず全員が共通でデータサイエンスと経営学の基礎を学びながら、卒業後のキャリアまで視野に入れた将来の志向を定めます。
- ◆ 2年次後期から卒業までは、データサイエンス又は経営学のいずれかの「学系」を選択し、自身の志向に応じた専門性を深めます。また、選択しなかった学系の科目も選択科目として履修可能です。

## データサイエンス学系（仮称）

経営学の基礎知識を修得した上で、データサイエンスの専門性を深めることにより、データ科学に立脚した企業経営・組織運営の改善提案や意思決定ができる、高度IT人材を育成します。

## 経営学系（仮称）

データサイエンスの基礎技術を身に付けた上で、経営学の専門性を深めることにより、理論・技術と地域産業等における課題とを結びつけた提案・実装ができる、企業・公共人材を育成します。

# 4 二つの学びを通じた『社会実装力』の養成

- ◆ 学系選択後はデータサイエンス又は経営学の専門性を深めながら、演習系科目・卒業研究等により、それぞれの学びを結びつけて社会実装に繋げるための具体的手法を学びます。
- ◆ 学系選択後も演習系科目は学部全体で実施します。卒業研究においても、選択した学系の教員が主指導教員、もう一方の学系の教員が副指導教員となることで、互いの専門性を持ち寄りながら協働するマインドを養成します。

取得学位 

想定される就職先 

学士  
（経営情報学）

データサイエンティスト、データエンジニア、クオンツ（金融・証券業界の数理分析専門家）、システムエンジニア、プログラマー、データアナリスト、生産設備制御・監視者、研究職、経営アナリスト、金融・保険専門職、マーケター、営業・企画管理者、公認会計士、税理士、経営コンサルタント、起業家、公務員 など

お問い合わせ 宇都宮大学学務部（新学部設置準備担当）  
✉ junbi@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

※記載の内容は構想中のものであり、今後、変更となる場合があります。

総政第 178 号  
令和 4 (2022) 年 12 月 2 日

国立大学法人宇都宮大学長 池田 宰 様

栃木県知事 福田 富



地方創生に向けた宇都宮大学の充実強化に関する要望書

栃木県政の推進につきましては、日頃から特段の御支援、御協力を賜り感謝申し上げます。我が国の人口は、今後長期的に減少し、少子高齢化が急速に進むことが予測されており、県では、喫緊の課題である人口減少の克服と本県の目指す将来像「人が育ち、地域が活きる未来に誇れる元気な“とちぎ”」の実現に向け、「とちぎ創生15戦略(第2期)」及び「とちぎ未来創造プラン」に掲げる施策を展開しております。

このような中、貴学が構想されているデータサイエンス経営学部は、Society5.0 社会の到来を目の前にして、データサイエンスの素養を持つ人材への需要が高まっている現在において、データサイエンスの素養と基礎的経営学をベースに社会実装力を身に付けた、課題解決や意思決定、価値創出につなげる能力を有するデータサイエンス及び経営学の専門家を育成するものとお聞きしており、誠に時宜を得たものであります。

さらに、大学の学部学科の充実と魅力向上は、県内外の多様な人材を呼び込み、これを育成することで地域の活力向上へつながっていくと考えられることから、この度の新学部構想は、とちぎ創生の実現に大変重要であると認識しており、県としましては、県内外の多くの若者が貴学において学び、修了後には地域に密着して活躍することを期待し、本構想を強く支持するものであります。

なお、教育研究の実施に当たっては、貴学と本県による取組が、地域の課題を解決し、持続可能で豊かな地域社会の構築に結びつくモデルケースとなるよう、引き続き、多様な連携・協力を行って参りたいと考えております。

貴学におかれましては、県内唯一の国立大学法人として、これまで県内の産業、行政、教育にわたる幅広い分野に地域を支える優秀な人材を数多く輩出され、また、地域デザイン科学、国際学、教育学、工学、農学等の各分野において県勢発展に様々な御協力をいただいております。今回の学部の充実強化により、これまで以上に地域貢献に御尽力いただくことを期待し、貴学の学部構想が早期に実現されることを強く要望いたします。

宇政審第263-1号

令和5年1月20日

国立大学法人宇都宮大学長 池田 宰 様

宇都宮市長 佐藤 栄  
(総合政策部 政策審議室取扱)



#### 新学部構想の実現による地域の地の拠点機能の進展について

日頃から、本市のまちづくりへの御理解、御協力をいただき、心より感謝申し上げます。さて、本市では、本市が人や企業から選ばれ、将来にわたり発展を続け、世界共通の目標であるSDGsに貢献するとともに、子どもから高齢者まで、誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができ、夢や希望がかなうまち、「スーパースマートシティの実現」をまちづくりの目標に掲げているところであります。

現在、本市を取り巻く社会経済環境は、少子・超高齢社会の進行、人口減少局面への突入、環境・エネルギー意識の高まりなど、大きく変化しており、「スーパースマートシティの実現」に当たりましては、行政だけではなく、市民、企業などの事業者、大学をはじめとする教育機関や各種団体などが、それぞれの強みを生かしながら、互いに連携、協働して取り組んでいくことが必要であると考えております。

これまで貴大学では、平成28年の地域デザイン科学部の設置、平成31年4月の地域創生科学研究科（修士課程）の設置及び令和3年4月の地域創生科学研究科（博士後期課程）の設置等を通じて、自治体、企業、地域諸団体等との連携強化を図りながら、地域課題の解決に向け、教育研究の推進及び改善に取り組まれてきており、本市における「地域の知の拠点」として役割の強化に努めてきていただいたと考えております。

このような中、貴大学がデータサイエンス及び経営学の素養をもとに実践的かつ科学的アプローチから課題を解決できる新たな経営人材の育成に向け、データサイエンス経営学部を設置することにつきましては、習得した知識や技術を活かし本市における様々な分野で活躍する人材の輩出につながることはもとより、本市におけるデータサイエンス及び経営学分野における実践的研究拠点になるものと大きな期待を寄せるものであり、こうしたことから、本市の高等教育が強化され、魅力が高まることで多くの若者を市内に呼び込むことにもつながるものと確信しております。

貴大学におかれましては、これまで、本市随一の高等教育機関として、学長をはじめ、地域デザイン科学、国際学、教育学、工学、農学等の各分野において多大なる御協力をいただいているところであり、改めて感謝申し上げますとともに、新学部構想で描く人材の輩出、研究の先進化等、本市における「地域の知の拠点」としての機能をより進展させ、本市のまちづくりの課題解決に向け御助力賜れば幸いに存じます。

末筆ではありますが、貴大学の益々の御発展を御祈念申し上げます。

令和5年2月7日

国立大学法人宇都宮大学長 池田 宰 様

公益社団法人栃木県経済同友会

筆頭代表理事 松下 正直



一般社団法人栃木県経営者協会

会長 青木 勲



一般社団法人栃木県商工会議所連合会

会長 藤井 昌一



栃木県商工会連合会

会長 福田 徳一



栃木県中小企業団体中央会

会長 齋藤 高藏



### 本県経済産業界の振興強化に関する要望書

日頃から、本県経済産業界に対し様々な御協力をいただき厚く感謝申し上げます。

さて、このたび貴学において構想されているデータサイエンス経営学部は、データサイエンスの素養と基礎的経営学をベースに社会実装力を身に付けた、課題解決や意思決定、価値創出につなげる能力を有するデータサイエンス及び経営学の専門家を育成するものであり、まさに本県の地域経済の繁栄のために待望の構想であります。

栃木県経済5団体においても、地域経済の振興発展のために貢献すべく取り組んでおりますが、デジタル時代に突入した現在において、貴学においてデータサイエンス力及びマネジメント力を兼ね備え、かつ社会実装力をもつ人材を輩出され、本県行政・経済界等に還元されることは、是非早期にお取り組みいただきたく、本構想を全面的に支持いたします。

さらに、貴学による新しい取組が、国内の他の地域産業界が抱える地域振興策のモデルケースとなり、地域経済産業の活性化に資するものと大きな期待を寄せるものであります。

つきましては、これまでも県内唯一の国立大学法人として、学長のリーダーシップの下、地域デザイン科学、国際学、教育学、工学、農学等の各分野において多くの御協力をいただいているところですが、本県経済産業界への御貢献を一層積極的にお進めいただくとともに、今回の新学部の設置構想が早期に実現されることを強く要望いたします。

なお、教育研究の実施に当たっては、貴学学生の実習等の受け入れ、実践的講義への講師派遣等、連携を深めながら協力をして参る所存です。

末筆ではありますが、貴学の益々の御発展を御祈念申し上げます。

令和5年2月10日

国立大学法人宇都宮大学長 池田 宰 様

一般社団法人とちぎニュービジネス協議会

会長 林 書緯



### 宇都宮大学データサイエンス経営学部設置に関する要望書

日頃から、本会に対し、御支援、御協力を賜り、感謝申し上げます。

このたびの宇都宮大学データサイエンス経営学部の設置は、データサイエンスの素養と基礎的経営学をベースに社会実装力を身に付けた、課題解決や意思決定、価値創出につなげる能力を有するデータサイエンス及び経営学の専門家を育成する目的であると伺いました。

Society5.0 社会の到来を目の前にして、社会的にデータサイエンスの素養を持つ人材への需要が高まっており、今回の新学部設置は時代のニーズに応えるものと考えております。また、デジタル時代に突入した現在において、貴学の育成する課題解決や意思決定、価値創出につなげる能力を有する人材は、本会会員企業のみならず県内の多くの企業において経営の中核をなす人材となるものと考えており、本会としても大いに期待を寄せるものであります。

なお、本会は令和3年7月21日に、貴学と地域人材育成及び地域共創を推進することを目的とした連携協定を締結しております。データサイエンス経営学部が設置されましたら、演習科目等における会員企業における学生の受け入れをはじめとして、引き続き密接かつ幅広い連携をはかりつつ、データサイエンス経営学部の教育・研究に協力していく所存です。

今回の新学部の設置構想が早期に実現され、地域企業のニーズにマッチした人材が県内において育成、輩出されることを強く期待しております。



令和4年12月22日

国立大学法人宇都宮大学  
学長 池田 幸 様

光陽エンジニアリング株式会社  
代表取締役会長 飯村慎一

### 宇都宮大学データサイエンス経営学部設置に関する要望書

日頃から、弊社に対し、御支援と協力を賜り感謝申し上げます。

このたびの宇都宮大学データサイエンス経営学部の設置は、データサイエンスの素養と基礎的経営学をベースに社会実装力を身に付けた、課題解決や意思決定、価値創出につながる能力を有するデータサイエンス及び経営学の専門家を育成する目的であると伺いました。

Society5.0 社会の到来を目の前にして、社会的にデータサイエンスの素養を持つ人材への需要が高まっている状況において、文理融合・分野複眼の教育研究体制で教育された人材は、地元産業界はもとより地域社会においても大いに期待されています。特に情報を分析し経営判断に生かせる人材は企業にとって貴重な戦力となります。

新学部設置は、まさに時代のニーズに応えるものであり、デジタル時代に突入した現在において地方国立大学は、知の拠点として地域の発展をリードする存在です。貴学の育成する課題解決や意思決定、新たな価値創出を有する人材は、弊社においても経営の中核をなす人材として期待を寄せるものであります。

今回の新学部の設置構想が早期に実現され、地域のニーズにマッチした人材が県内において育成、輩出されることを強く期待しております。

令和4年12月5日

国立大学法人宇都宮大学長 池田 宰 先生



株式会社TKC  
代表取締役社長 飯塚 真規

### 宇都宮大学データサイエンス経営学部設置に関する要望書

謹啓 平素は弊社に格別のご高配を賜り、感謝申し上げます。

このたびの宇都宮大学データサイエンス経営学部の設置は、データサイエンスの素養と基礎的経営学をベースに社会実装力を身に付け、課題解決や意思決定、価値創出につなげる能力を有するデータサイエンス及び経営学の専門家を育成する目的であると伺いました。

Society5.0 社会の到来を目の前にして、社会的にデータサイエンスの素養を持つ人材の需要はますます高まっており、今回の新学部設置は時代のニーズに応える素晴らしい取り組みだと考えております。

また、デジタル時代に突入した現在において、貴学の育成する課題解決や意思決定、価値創出につなげる能力を有する人材は、当社においても将来の経営の中核をなす人材となるものと考えており、大いに期待を寄せるものであります。

今回の新学部の設置構想が早期に実現され、近い将来において当社のみならず地域産業を牽引する人材が県内において育成、輩出されることを強く期待しております。

謹白

令和4年12月19日

国立大学法人宇都宮大学長  
池田 宰 様

株式会社 足利銀行  
取締役会長 松下 正直



### 宇都宮大学データサイエンス経営学部設置に関する要望書

日頃より、弊行に対し格別のご高配を賜り感謝申し上げます。

さて、この度、貴学の「データサイエンス経営学部」の設置につきましては、データサイエンスの素養を持ち、基礎的経営学をベースに社会実装力を身に付けたデータサイエンスおよび経営学の専門家を新たに育成する取り組みであると伺いました。

ご周知のとおり、社会的にもデータサイエンスの素養を持つ人材への需要は日増しに高まっており、大企業のみならず、中小・零細企業においても、人材不足・生産性向上といった課題を解決するためのデータ活用やDXの取り組みは喫緊の経営課題となっています。こうした中、今回の貴学の新学部設置構想は、地域のニーズ・課題解決、ひいては地域社会の継続的成長に繋がる取り組みであると期待されます。また、弊行においても今年4月にスタートした第3次グループ中期経営計画の中で、持続的な経営基盤の構築にあたり、行内外でDXを推進する「DX人材」の育成や、専門的知識を持つコンサルティング人材の育成に注力をしており、貴学の取り組みにも大いに期待を寄せるものであります。

今回の新学部の設置構想が早期に実現され、地域企業のニーズにマッチした人材が県内において育成・輩出されることで、貴学が「知の拠点」として継続的に地域の発展をリードされていくことを強く期待しております。

以上

令和5年2月20日

国立大学法人宇都宮大学長 池田 宰 様

トヨタウッドユーホーム株式会社  
取締役会長 中津 正修

### 宇都宮大学データサイエンス経営学部設置に関する要望書

日頃から、弊社に対し、御支援、御協力を賜り、感謝申し上げます。

このたびの宇都宮大学データサイエンス経営学部の設置は、データサイエンスの素養と基礎的経営学をベースに社会実装力を身に付けた、課題解決や意思決定、価値創出につなげる能力を有するデータサイエンス及び経営学の専門家を育成する目的であると伺いました。

Society5.0 社会の到来を目の前にして、社会的にデータサイエンスの素養を持つ人材への需要が高まっており、今回の新学部設置は時代のニーズに応えるものと考えております。また、デジタル時代に突入した現在において、貴学の育成する課題解決や意思決定、価値創出につなげる能力を有する人材は、当社において経営の中核をなす人材となるものと考えており、当社としても大いに期待を寄せるものであります。

今回の新学部の設置構想が早期に実現され、地域企業のニーズにマッチした人材が県内において育成、輩出されることを強く期待しております。

---

---

宇都宮大学  
「データサイエンス経営学部  
データサイエンス経営学科」(仮称)  
設置に関するニーズ調査  
結果報告書  
【企業対象調査】

---

---

令和5年1月  
株式会社 進研アド

# 企業対象 調査概要

## 1. 調査目的

2024年4月開設予定の宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」新設構想に関して、企業・団体等(以下、「企業」とする。)の採用ニーズを把握する。

## 2. 調査概要

		企業対象調査
調査対象		企業の採用担当者
調査エリア		岩手県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、静岡県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	509企業
	回収数(回収率)	180企業(35.4%)
調査時期		2022年10月11日(火)～2022年11月18日(金)
調査実施機関		株式会社 進研アド

## 3. 調査項目

企業対象調査
<ul style="list-style-type: none"><li>・人事採用への関与度</li><li>・本部所在地</li><li>・業種</li><li>・従業員数</li><li>・正規社員・職員の平均採用人数</li><li>・本年度の採用予定数</li><li>・採用したい学問分野</li><li>・データサイエンス修得者の人材の必要性</li><li>・宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の特色に対する魅力度</li><li>・宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の社会的必要性</li><li>・宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」卒業生に対する採用意向</li><li>・宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」卒業生の毎年の採用想定人数</li></ul>

## 企業対象 調査結果まとめ



# 企業対象 調査結果まとめ

## 回答企業(回答者)の属性

※本調査は、宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」に対する人材需要を確認するための調査として設計。宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の卒業生就職先として想定される企業の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、180企業から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は22.8%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が61.7%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。
- 回答企業の本部所在地は、宇都宮大学の所在地である「栃木県」が75.6%を占め、最も多い。次いで「茨城県」「東京都」が8.9%である。
- 回答企業の業種としては「製造業」が20.6%で最も多い。次いで「卸売業、小売業」が15.0%、「建設業」が12.2%である。
- 回答企業の従業員数(正規社員・職員)は、「100名～499名」が44.4%で最も多い。次いで「50名～99名」が14.4%、「50名未満」が13.9%である。



## 企業対象 調査結果まとめ

---

### 回答企業の採用状況(過去3か年)／本年度の採用予定数／ 採用したい学問分野／データサイエンス修得者の人材の必要性

- 回答企業の平均的な正規社員・職員の採用人数は、「1名～4名」が28.9%で最も多い。次いで「5名～9名」が21.7%、「10名～19名」が18.9%である。毎年、正規社員・職員を採用している企業がほとんどである。
- 回答企業の本年度の採用予定数は、「昨年度並み」が61.1%で最も多い。次いで「増やす」が27.2%である。「未定」も一定数あるものの、回答企業の多くで昨年と同等かそれ以上の採用が予定されている様子である。
- 回答企業の採用したい学問分野を複数回答で聴取したところ、「工学」が40.0%で最も高い。次いで「学んだ学問分野にはこだわらない」が38.3%、「経済学・商学」が30.0%と続く。「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の学びに関連のある「データサイエンス」は29.4%、「経営学」は26.7%である。
- データサイエンス修得者の人材の必要性についての評価は、「必要である」が27.8%、「今後必要になる」が60.0%と、多くの企業から必要な人材であると評価されていることがうかがえる。

## 企業対象 調査結果まとめ

### 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の特色に対する魅力度

- 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の学部共通の特色に対する魅力度(※)は、3項目すべて8割を超える。

学部共通の特色のうち最も魅力度が高いのは、「C. マネジメント力 (Management skills)、データサイエンス力 (Data Science skills)、社会実装力 (Implementation skills)の3つの力を有する経営人材を育成します。」(94.4%)である。

次に魅力度が高いのは、「B. データサイエンスの素養を持ち、基礎的経営学をベースに実践的な知識を身に付けた、課題解決や価値創出に繋げる能力を有するデータサイエンス及び経営学の専門家を育成します。」(92.8%)、さらに「A. 経営学、データサイエンス及び地元企業等での実践科目を配した学位プログラムとし、文理複眼人材を育成します。」(89.4%)と続く。

- データサイエンス学系の特色は、「D. 経営学の基礎知識を修得した上で、データサイエンスの専門性を深めることにより、データ科学に立脚した企業経営・組織運営の改善提案や意思決定ができる高度IT人材を育成します。」で、魅力度は92.2%である。
- 経営学系の特色は、「E. データサイエンスの基礎技術を身に付けた上で、経営学の専門性を深めることにより、理論・技術と地域産業等における課題とを結びつけた提案・実装ができる、企業・公共人材を育成します。」で、魅力度は88.9%である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した企業の合計値

## 企業対象 調査結果まとめ

### 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 データサイエンス学系」の社会的必要性

- 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 データサイエンス学系」の社会的必要性についての評価は、96.1% (180企業中、**173企業**) が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業からこれからの社会にとって必要な学部学科学系であると評価されていることがうかがえる。

### 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 データサイエンス学系」卒業生に対する採用意向・毎年の採用想定人数

- 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 データサイエンス学系」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、82.8% (180企業中、**149企業**) である。
- 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 データサイエンス学系」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた149企業へ宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 データサイエンス学系」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**252名**で、予定している入学定員数55名を4倍以上上回っている。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

<属性別>

◇本部所在地別

- 宇都宮大学の所在地である「栃木県」に本部がある企業からの採用意向は、83.1% (136企業中、**113企業**)。採用想定人数の合計は**179人**で、予定している入学定員数を3倍以上上回っている。

## 企業対象 調査結果まとめ

---

### ◇本年度の採用予定数別

- 本年度の採用を「増やす」予定の企業からの採用意向は、81.6% (49企業中、**40企業**)。採用想定人数の合計は**89人**で、予定している入学定員数を上回っている。本年度の採用が「昨年度並み」予定の企業からの採用意向は、88.2% (110企業中、**97企業**)。採用想定人数の合計は**143人**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。

### ◇採用したい学問分野別

- 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の学びと関連する「データサイエンス」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は100.0% (53企業中、**53企業**)。採用想定人数の合計は**91人**で、予定している入学定員数を上回っている。「経営学」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は97.9% (48企業中、**47企業**)。採用想定人数の合計は**72人**で、予定している入学定員数を上回っている。

### ◇データサイエンス修得者の人材の必要性別

- データサイエンス修得者の人材が「必要である」と回答した企業からの採用意向は96.0% (50企業中、**48企業**)。採用想定人数の合計は**118人**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。データサイエンス修得者の人材が「今後必要になる」と回答した企業からの採用意向は88.0% (108企業中、**95企業**)。採用想定人数の合計は**123人**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。

### ◇宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の特色に対する魅力度別

- 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の特色に魅力を感じている企業の採用意向は、いずれの特色でも8割を超えている。採用想定人数も230人以上と、予定している入学定員数を4倍以上上回っている。

## 企業対象 調査結果まとめ

---

◇社会的必要性別【必要だと思う】

- 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 データサイエンス学系」が社会的に「必要だと思う」と回答した企業からの採用意向は85.5% (173企業中、**148企業**)。採用想定人数の合計は**251人**で、予定している入学定員数を4倍以上上回っている。

## 企業対象 調査結果まとめ

### 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 経営学系」の社会的必要性

- 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 経営学系」の社会的必要性についての評価は、96.1% (180企業中、**173企業**)が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業からこれからの社会にとって必要な学部学科学系であると評価されていることがうかがえる。

### 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 経営学系」卒業生に対する採用意向・毎年の採用想定人数

- 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 経営学系」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、83.9% (180企業中、**151企業**)である。
- 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 経営学系」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた151企業へ宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 経営学系」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**254名**で、予定している入学定員数55名を4倍以上上回っている。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

<属性別>

◇本部所在地別

- 宇都宮大学の所在地である「栃木県」に本部がある企業からの採用意向は、86.0% (136企業中、**117企業**)。採用想定人数の合計は**180人**で、予定している入学定員数を3倍以上上回っている。

## 企業対象 調査結果まとめ

---

### ◇本年度の採用予定数別

- 本年度の採用を「増やす」予定の企業からの採用意向は、83.7% (49企業中、**41企業**)。採用想定人数の合計は**89人**で、予定している入学定員数を上回っている。本年度の採用が「昨年度並み」予定の企業からの採用意向は、90.0% (110企業中、**99企業**)。採用想定人数の合計は**146人**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。

### ◇採用したい学問分野別

- 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の学びと関連する「データサイエンス」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は98.1% (53企業中、**52企業**)。採用想定人数の合計は**82人**で、予定している入学定員数を上回っている。「経営学」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は97.9% (48企業中、**47企業**)。採用想定人数の合計は**76人**で、予定している入学定員数を上回っている。

### ◇データサイエンス修得者の人材の必要性別

- データサイエンス修得者の人材が「必要である」と回答した企業からの採用意向は94.0% (50企業中、**47企業**)。採用想定人数の合計は**110人**で、予定している入学定員数を2倍上回っている。データサイエンス修得者の人材が「今後必要になる」と回答した企業からの採用意向は90.7% (108企業中、**98企業**)。採用想定人数の合計は**135人**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。

### ◇宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の特色に対する魅力度別

- 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の特色に魅力を感じている企業の採用意向は、いずれの特色でも8割を超えている。採用想定人数も230人以上と、予定している入学定員数を4倍以上上回っている。

## 企業対象 調査結果まとめ

---

◇社会的必要性別【必要だと思う】

- 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 経営学系」が社会的に「必要だと思う」と回答した企業からの採用意向は86.7%（173企業中、**150企業**）。採用想定人数の合計は**251人**で、予定している入学定員数を4倍以上上回っている。



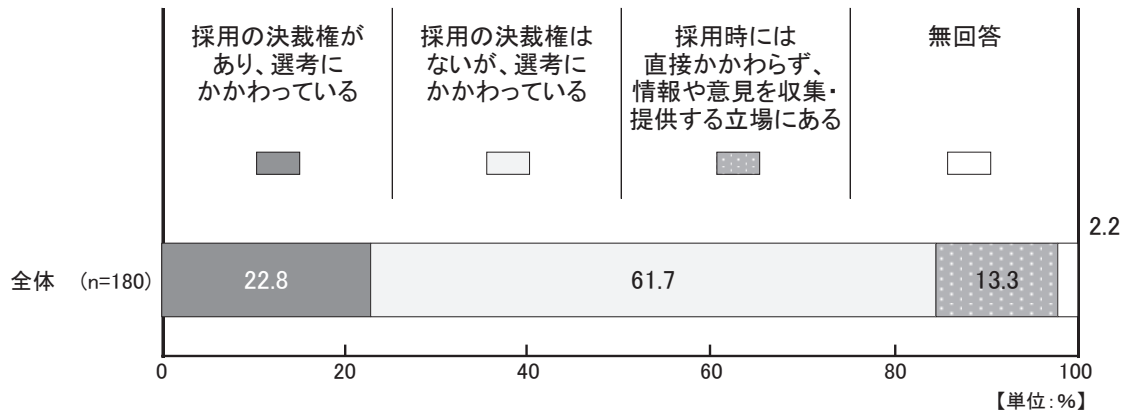
## 企業対象 調査結果



# 回答企業(回答者)の属性(人事採用への関与度/本部所在地)

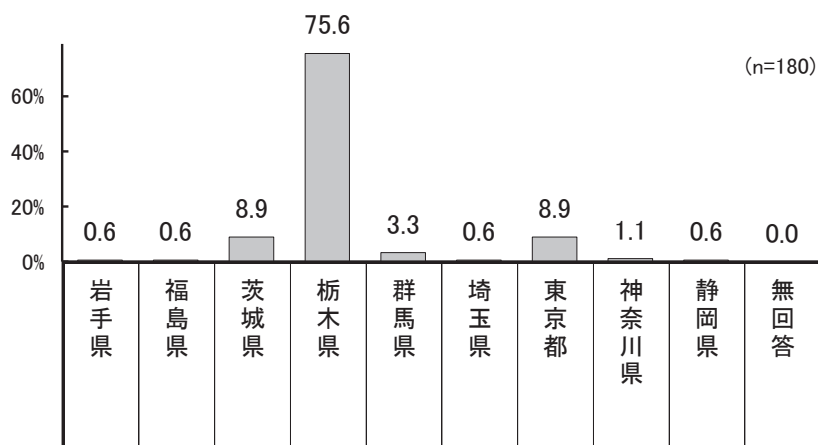
## ■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)



## ■本部所在地

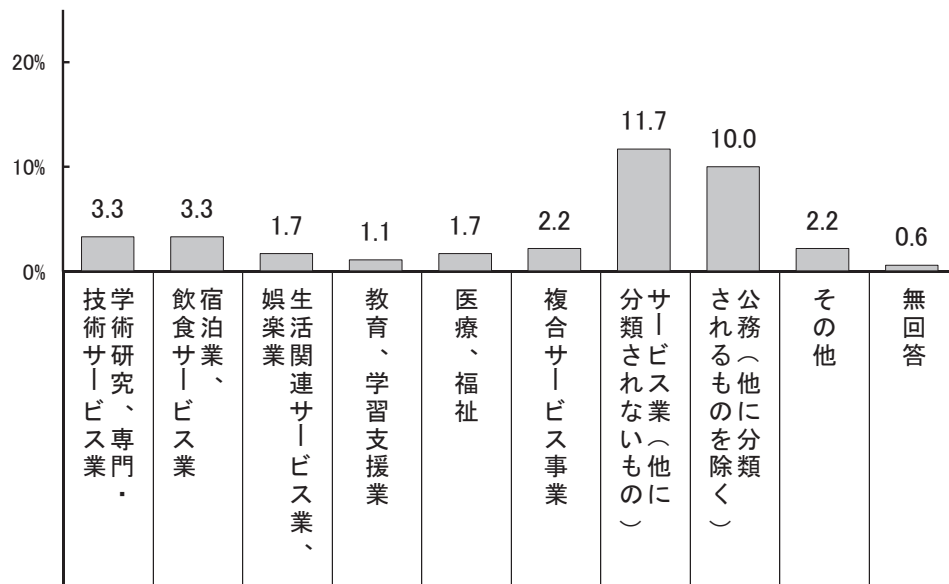
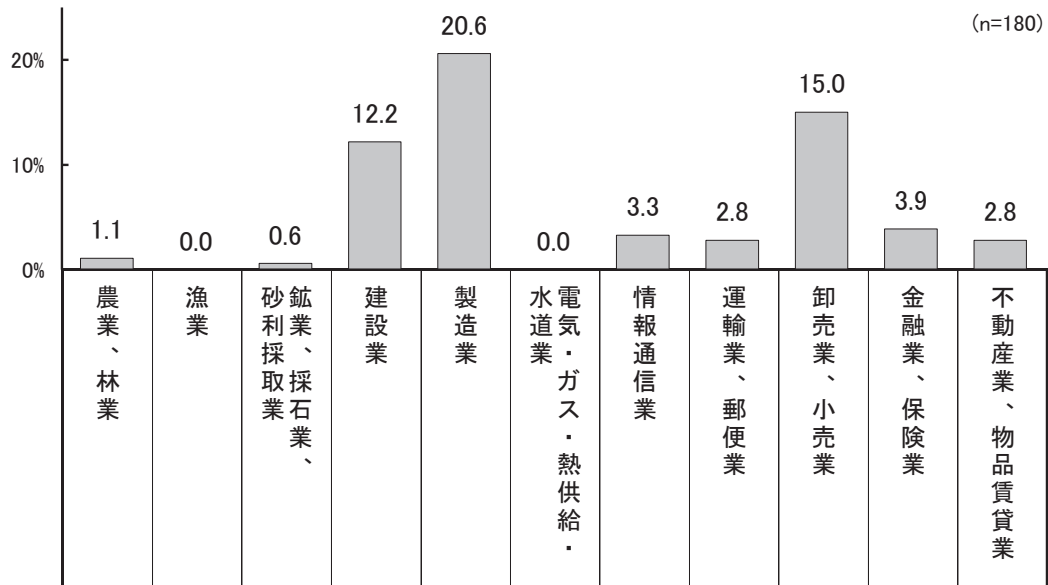
Q2. 貴社・貴団体の本部所在地について、都道府県名をお教えてください。



# 回答企業(回答者)の属性(業種)

## ■業種

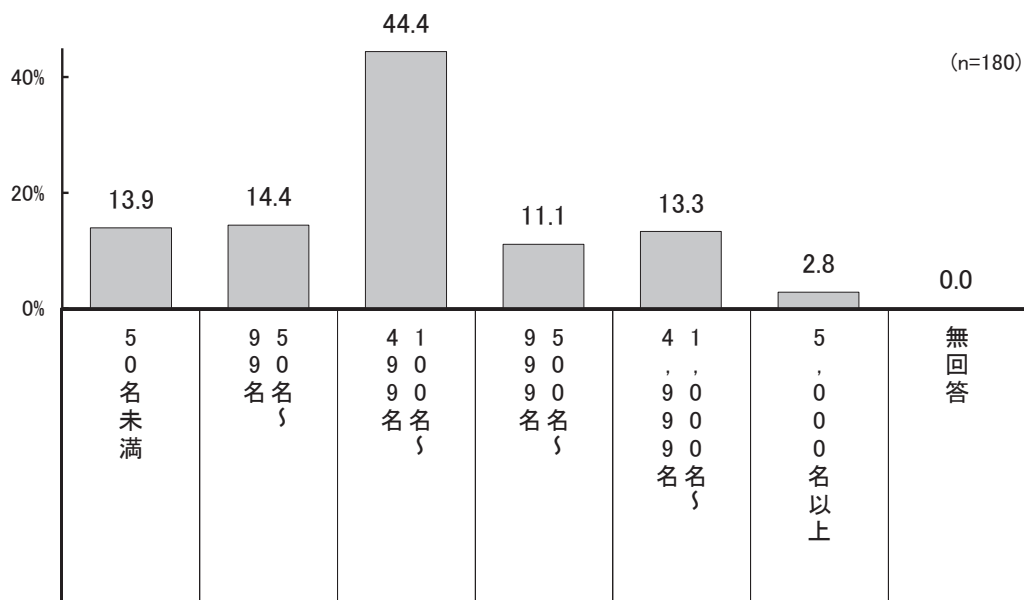
Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)  
 なお、業種の分類は、総務省「日本標準産業分類」によるものです。



# 回答企業(回答者)の属性(従業員数)

## ■従業員数

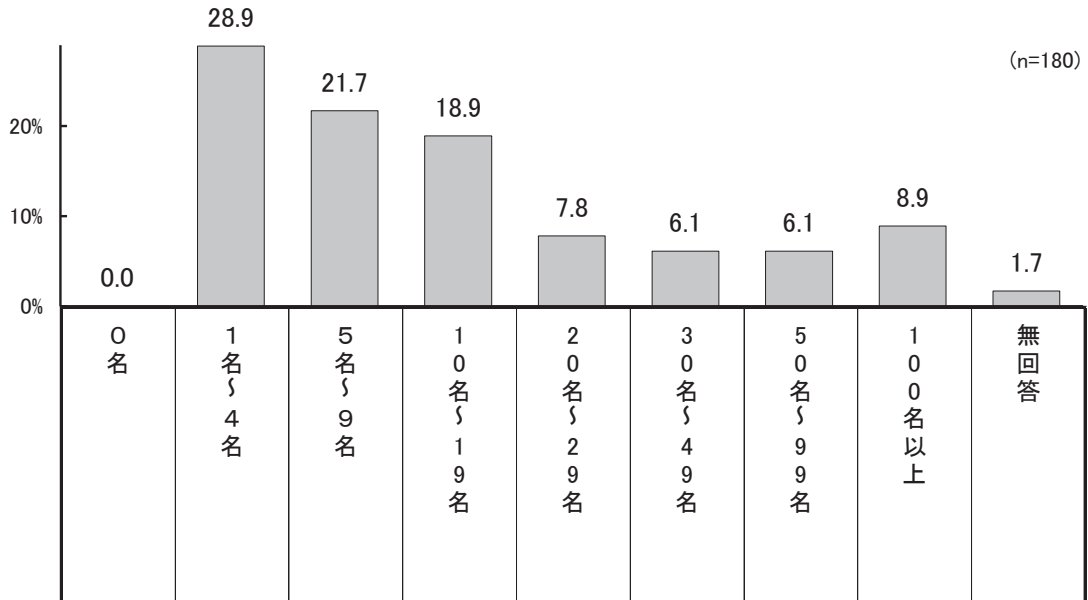
Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員・職員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



# 正規社員・職員の平均採用人数／本年度の採用予定数

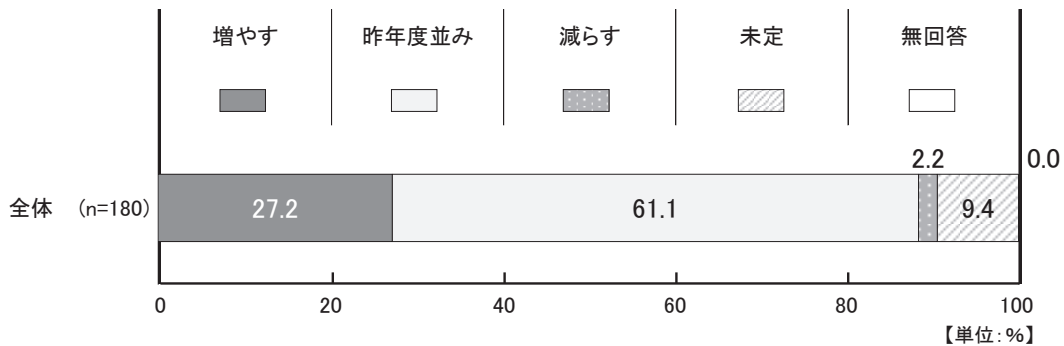
## ■正規社員・職員の平均採用人数

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員・職員の採用数について、お教えてください。(あてはまる番号1つに○)



## ■本年度の採用予定数

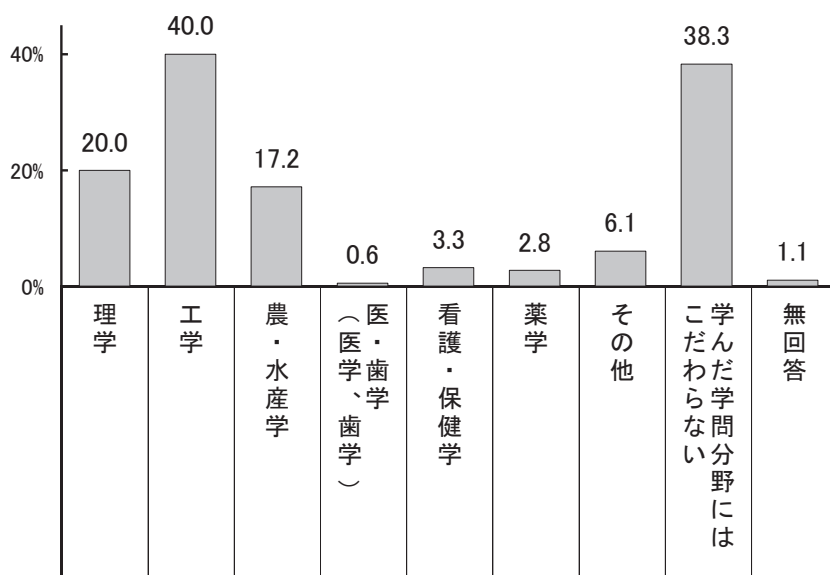
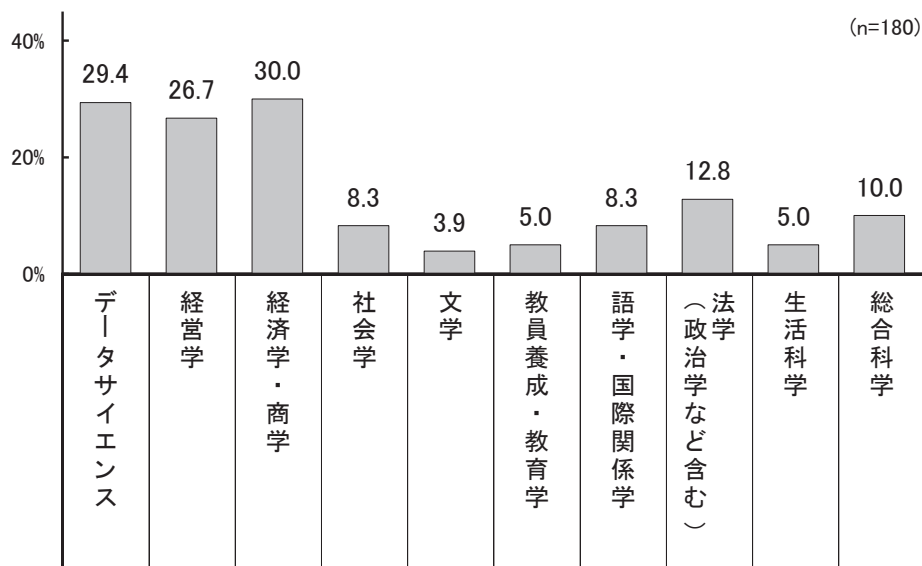
Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)



# 採用したい学問分野

## ■採用したい学問分野

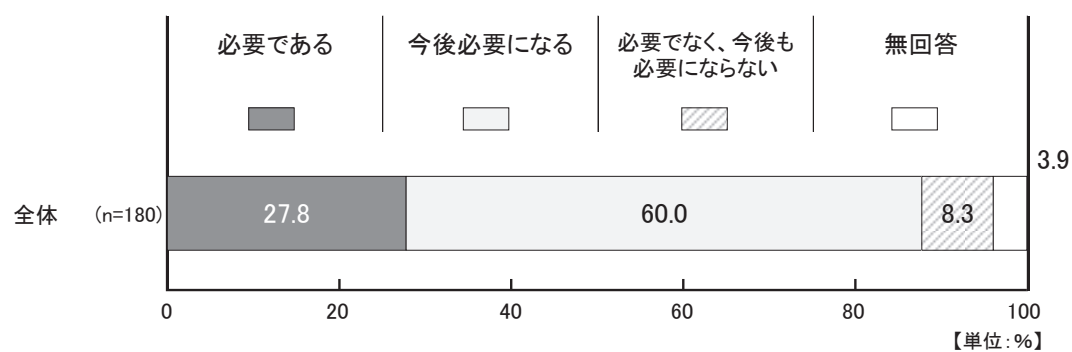
Q7. 貴社・貴団体では、今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。(あてはまる番号すべてに○)※以下の項目にある「データサイエンス」とは、様々なデータを多面的に分析・解析し、必要とする情報、法則、関連性などを導き出す学問のことをいいます。



# データサイエンス修得者の人材の必要性

## ■データサイエンス修得者の人材の必要性

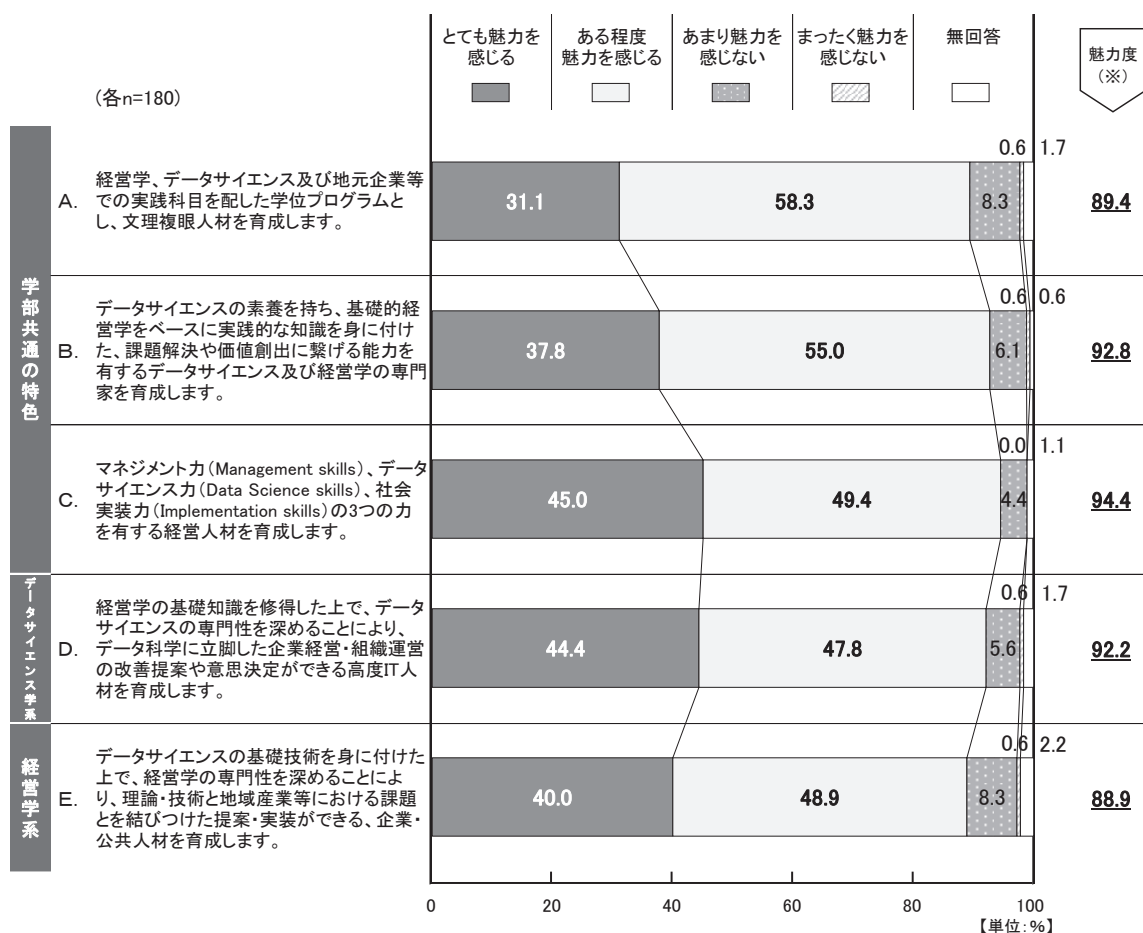
Q8. 貴社・貴団体では、データサイエンスを修得した人材が必要である、もしくは、今後必要になるとお考えですか。  
(あてはまる番号1つに○)



# 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の特色に対する魅力度

## ■宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」の特色に対する魅力度

Q9. 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」(仮称)には、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



※魅力度=「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

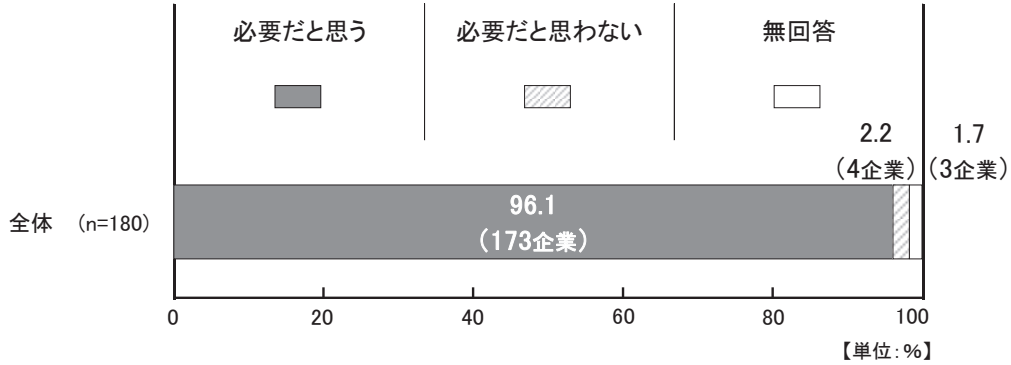
※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない



# 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 データサイエンス学系」の社会的必要性／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

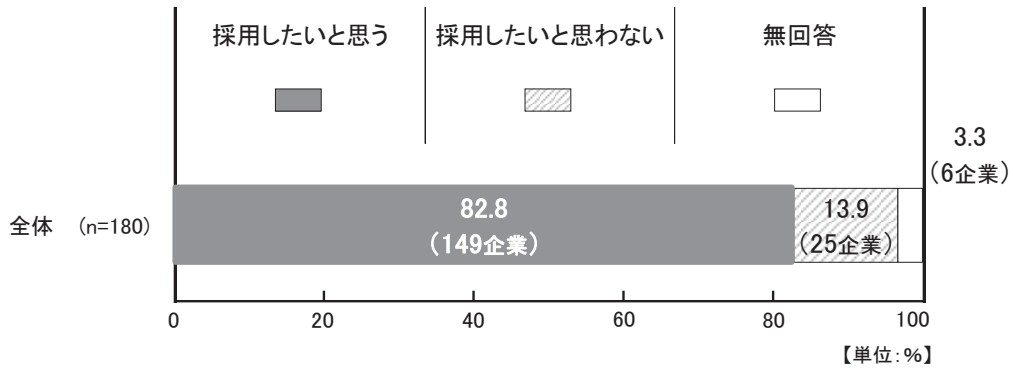
## ■宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 データサイエンス学系」の社会的必要性

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)は、宇都宮大学 データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科(仮称)は、これからの社会にとって必要だと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)



## ■宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 データサイエンス学系」卒業生に対する採用意向

Q11. 貴社・貴団体(ご回答者)では、宇都宮大学 データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科(仮称)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた149企業のみ抽出

## ■宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 データサイエンス学系」卒業生の毎年の採用想定人数

Q12. Q11で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

採用を考える場合、宇都宮大学 データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科(仮称)を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

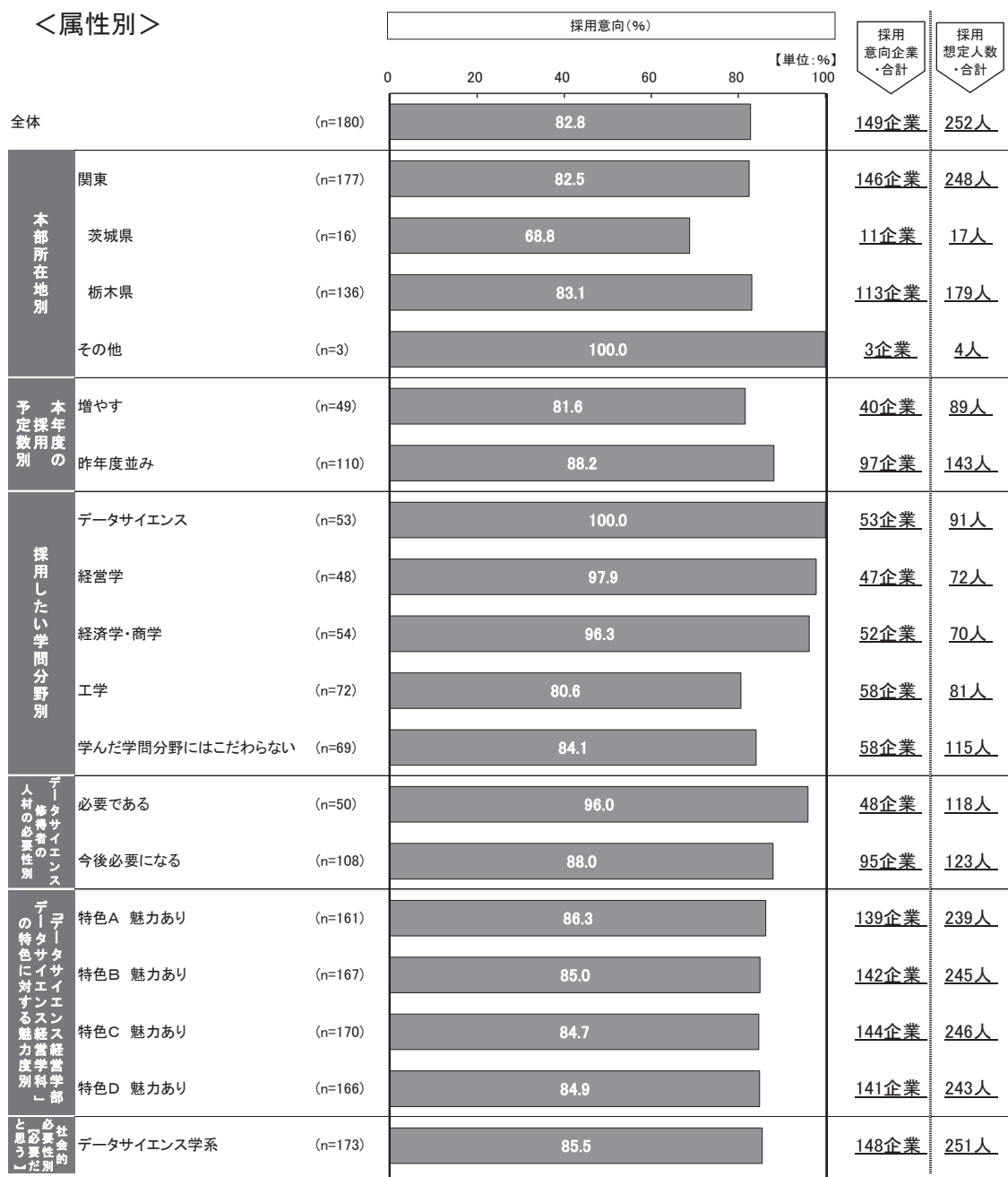
標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	計
		%	企業数	名	%	企業数	名	
全体	149	65.8%	14.8%	8.1%	0.7%	4.0%	2.7%	⇒ 143 252
		98	22	12	1	6	4	
		98	44	36	4	30	40	

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

## 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 データサイエンス学系」卒業生に対する採用意向／採用想定人数<属性別>

### ■宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 データサイエンス学系」卒業生に対する採用意向／採用想定人数<属性別>

※宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 データサイエンス学系」に対して、Q11で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q12で回答した企業が示す具体的な人数を【採用想定人数】と定義する。

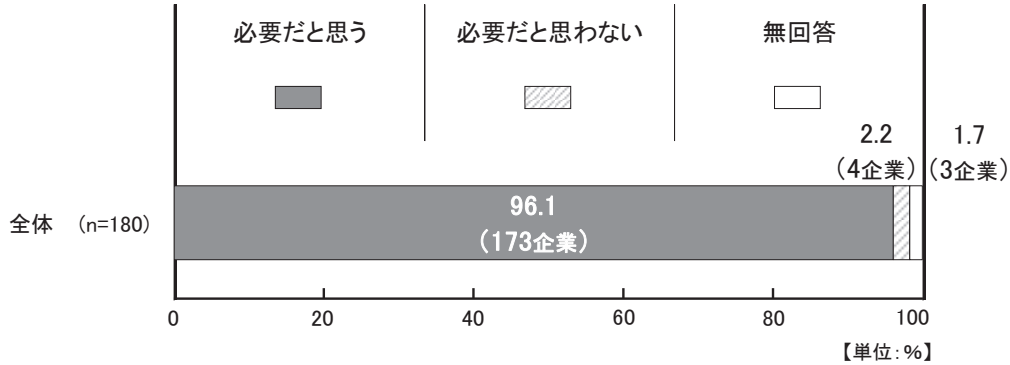


※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

# 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 経営学系」の社会的必要性／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

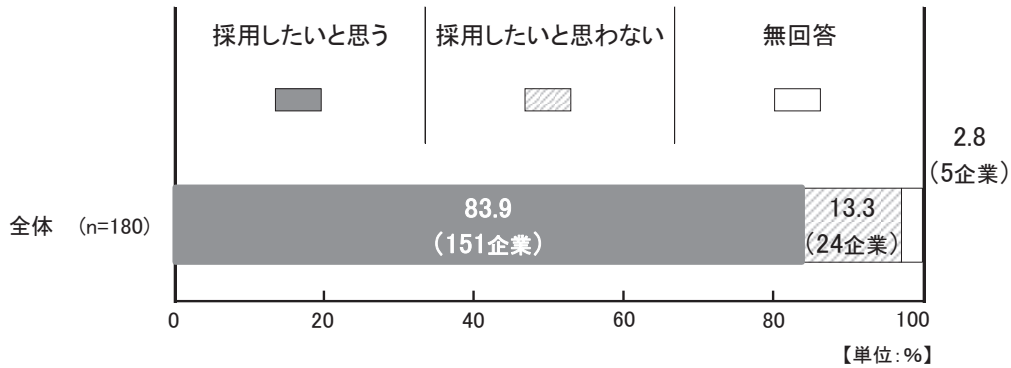
## ■宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 経営学系」の社会的必要性

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)は、宇都宮大学 データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科(仮称)は、これからの社会にとって必要だと思われますか。(あてはまる番号1つに○)



## ■宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 経営学系」卒業生に対する採用意向

Q11. 貴社・貴団体(ご回答者)では、宇都宮大学 データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科(仮称)を卒業した学生について、採用したいと思われますか。(あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた151企業のみ抽出

## ■宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 経営学系」卒業生の毎年の採用想定人数

Q12. Q11で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

採用を考える場合、宇都宮大学 データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科(仮称)を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

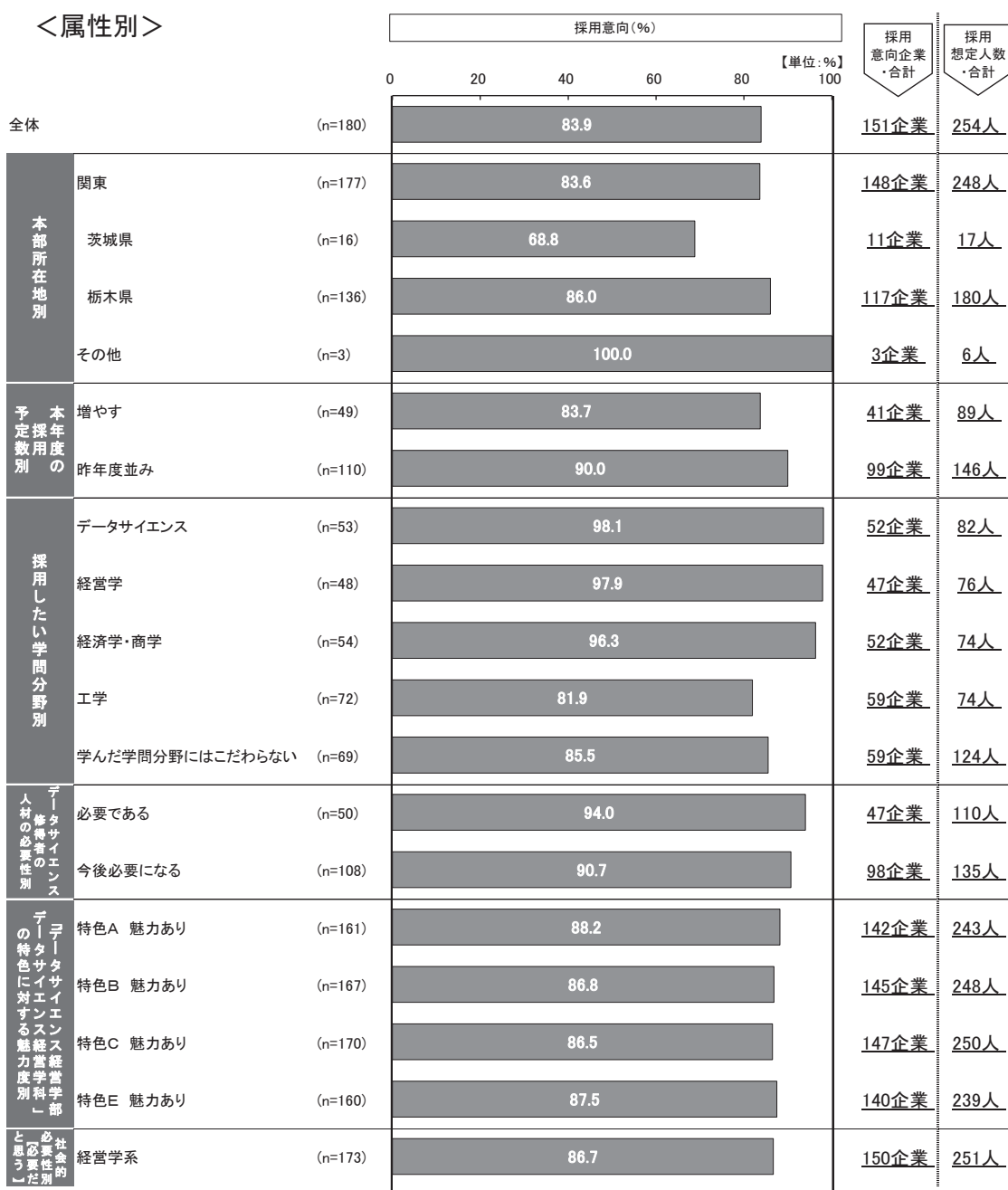
標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	計
		%	企業数	名	%	企業数	名	
全体	151	66.2%	13.2%	7.9%	1.3%	4.0%	2.6%	⇒ 144 254
		100	20	12	2	6	4	
		100	40	36	8	30	40	

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

## 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 経営学系」卒業生に対する採用意向／採用想定人数<属性別>

### ■宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 経営学系」卒業生に対する採用意向／採用想定人数<属性別>

※宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 経営学系」に対して、Q11で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q12で回答した企業が示す具体的な人数を【採用想定人数】と定義する。



※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

## 卷末資料 調查票



# 調査票

## 宇都宮大学 データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科(仮称)に関するアンケート

宇都宮大学では2024年(令和6年)4月より、「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」(仮称)を新設することを構想しています。  
このアンケートは人事採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただきます。  
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、会社・団体及び個人を特定することは一切ありません。  
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※このアンケートと同封した資料に記載されている「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」(仮称)に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある

Q2. 貴社・貴団体の本部所在地について、都道府県名をお教えてください。

本部所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

なお、業種の分類は、総務省「日本標準産業分類」によるものです。

- |                  |                     |                       |
|------------------|---------------------|-----------------------|
| 1. 農業、林業         | 8. 運輸業、郵便業          | 15. 教育、学習支援業          |
| 2. 漁業            | 9. 卸売業、小売業          | 16. 医療、福祉             |
| 3. 鉱業、採石業、砂利採取業  | 10. 金融業、保険業         | 17. 複合サービス事業          |
| 4. 建設業           | 11. 不動産業、物品賃貸業      | 18. サービス業(他に分類されないもの) |
| 5. 製造業           | 12. 学術研究、専門・技術サービス業 | 19. 公務(他に分類されるものを除く)  |
| 6. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 13. 宿泊業、飲食サービス業     | 20. その他               |
| 7. 情報通信業         | 14. 生活関連サービス業、娯楽業   |                       |

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員・職員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- |            |              |                  |
|------------|--------------|------------------|
| 1. 50名未満   | 3. 100名～499名 | 5. 1,000名～4,999名 |
| 2. 50名～99名 | 4. 500名～999名 | 6. 5,000名以上      |

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員・職員の採用数について、お教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

- |          |            |            |
|----------|------------|------------|
| 1. 0名    | 4. 10名～19名 | 7. 50名～99名 |
| 2. 1名～4名 | 5. 20名～29名 | 8. 100名以上  |
| 3. 5名～9名 | 6. 30名～49名 |            |

Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

- |          |        |
|----------|--------|
| 1. 増やす   | 3. 減らす |
| 2. 昨年度並み | 4. 未定  |

Q7. 貴社・貴団体では、今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。

(あてはまる番号すべてに○)

※以下の項目にある「データサイエンス」とは、様々なデータを多面的に分析・解析し、必要とする情報、法則、関連性などを導き出す学問のことをいいます。

- |             |                |                     |
|-------------|----------------|---------------------|
| 1. データサイエンス | 7. 語学・国際関係学    | 13. 農・水産学           |
| 2. 経営学      | 8. 法学(政治学など含む) | 14. 医・歯学(医学、歯学)     |
| 3. 経済学・商学   | 9. 生活科学        | 15. 看護・保健学          |
| 4. 社会学      | 10. 総合科学       | 16. 薬学              |
| 5. 文学       | 11. 理学         | 17. その他             |
| 6. 教員養成・教育学 | 12. 工学         | 18. 学んだ学問分野にはこだわらない |

Q8. 貴社・貴団体では、データサイエンスを修得した人材が必要である、もしくは、今後必要になるとお考えですか。

(あてはまる番号1つに○)

- |          |            |                     |
|----------|------------|---------------------|
| 1. 必要である | 2. 今後必要になる | 3. 必要でなく、今後も必要にならない |
|----------|------------|---------------------|

裏面へ続く→

# 調査票

宇都宮大学では、2024年(令和6年)4月に、新しく、「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」(仮称)を設置することを構想しています。

※ここからは、アンケートに同封している資料をご覧いただいた上でお答えください※

- Q9. 宇都宮大学「データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科」(仮称)には、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

			とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
例.	○○である。		→ 1	○ 2	3	4
学部共通の特色	A.	経営学、データサイエンス及び地元企業等での実践科目を配した学位プログラムとし、文理複眼人材を育成します。	→ 1	2	3	4
	B.	データサイエンスの素養を持ち、基礎的経営学をベースに実践的な知識を身に付けた、課題解決や価値創出に繋げる能力を有するデータサイエンス及び経営学の専門家を育成します。	→ 1	2	3	4
	C.	マネジメント力(Management skills)、データサイエンス力(Data Science skills)、社会実装力(Implementation skills)の3つの力を有する経営人材を育成します。	→ 1	2	3	4
サイエンス経営学系	D.	経営学の基礎知識を修得した上で、データサイエンスの専門性を深めることにより、データ科学に立脚した企業経営・組織運営の改善提案や意思決定ができる高度IT人材を育成します。	→ 1	2	3	4
	E.	データサイエンスの基礎技術を身に付けた上で、経営学の専門性を深めることにより、理論・技術と地域産業等における課題とを結びつけた提案・実装ができる、企業・公共人材を育成します。	→ 1	2	3	4

- Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)は、宇都宮大学 データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科(仮称)は、これからの社会にとって必要だと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)

			1.必要だと思う	2.必要だと思わない
データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科	データサイエンス学系	→	1	2
	経営学系	→	1	2

- Q11. 貴社・貴団体(ご回答者)では、宇都宮大学 データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科(仮称)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)

			1.採用したいと思う	2.採用したいと思わない
データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科	データサイエンス学系	→	1	2
	経営学系	→	1	2

- Q12. Q11で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、宇都宮大学 データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科(仮称)を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

			1名	2名	3名	4名	5名～9名	10名以上
データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科	データサイエンス学系	→	1	2	3	4	5	6
	経営学系	→	1	2	3	4	5	6

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

## 取得学位

- 学士(経営情報学)

## 想定される進路

データサイエンティスト、データエンジニア、クオントツ(金融・証券業界の数理分析専門家)、システムエンジニア、プログラマー、データアナリスト、生産設備制御・監視者、研究職、経営アナリスト、金融・保険専門職、マーケティング、営業・企画管理者、公認会計士、税理士、経営コンサルタント、起業家、公務員 など

## 学費(予定)

項目	金額
入学科	282,000円 (入学時のみ)
授業料	年間 535,800円

## 類似する学部・学科

- 群馬大学 情報学部 情報学科
- 横浜市立大学 データサイエンス学部 データサイエンス学科
- 高崎経済大学 経済学部 経営学科
- 茨城大学 人文社会科学部 法律経済学科
- 福島大学 共生システム理工学類

## ACCESS

### 峰キャンパス

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350 (JR宇都宮駅から徒歩2.2km)

#### JR宇都宮駅西口から

**3番乗り場 (JRバス)** 清原台団地行、芳賀町役場行、祖母井行、茂木行、ベルモール行など  
乗車時間約15分「宇大前」下車徒歩1分

**14番乗り場 (関東バス)** 真興行、益子行、海星学院行、ベルモール行など  
乗車時間約15分「宇都宮大前」下車徒歩1分

#### JR宇都宮駅東口から

**3番乗り場 (関東バス)** 宇大循環線(左回り)、乗車時間約10分「宇都宮大前」下車徒歩1分  
宇大循環線(右回り)、乗車時間約25分「宇都宮大前」下車徒歩1分

**4番乗り場 (関東バス)** 卸団地循環線  
乗車時間約8分「宇都宮大前」下車徒歩1分

**タクシー** 約5分

#### 東武宇都宮駅から

**1番乗り場 (関東バス)** すべての便  
乗車時間約25分「宇都宮大前」下車徒歩1分

**東武駅前 (JRバス)** 清原台団地行、芳賀町役場行、祖母井行、茂木行、ベルモール行など  
乗車時間約20分「宇大前」下車徒歩1分

**タクシー** 約10分



#### ■ 主要駅からJR宇都宮駅へのアクセス

東京	JR東北新幹線(約50分)	宇都宮
上野	JR宇都宮線快速(約90分)	
仙台	JR東北新幹線(約80分)	
山形	JR東北・山形新幹線(約120分)	
横浜	JR湘南新宿ライン快速(約140分)	



お問い合わせ 宇都宮大学学務部(新学部設置準備担当)  
TEL:028-649-5481 E-mail:junbi@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp  
https://www.utsunomiya-u.ac.jp

- 地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科/建築都市デザイン学科/社会基盤デザイン学科
- 国際学部 国際学科
- 共済教育学部 学校教育教員養成課程
- 工学部 基礎工学科(物質環境化学コース/機械システム工学コース/情報電子オブティクスコース)
- 農学部 生物資源科学科/応用生命化学科/農業環境工学科/農業経済学科/森林科学科

※記載の内容は構想中のものであり、今後、変更となる場合があります。

地域の産業を  
支える、  
新たな学び。



# データサイエンス 経営学部

(仮称 設置構想中)

2024年 4月開設(予定)

入学定員 55名(予定)





2024年  
4月開設  
(予定)

宇都宮大学

# データサイエンス経営学部

※仮称 設置構想中

入学定員  
55名(予定)

## データサイエンスと経営学の実践的な知識を身に付け、課題解決・価値創造できる人材を育成します。

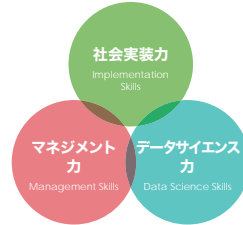
デジタル化・グローバル化が急速に進む中、Society5.0社会の到来を目前にして、データサイエンスの素養を持った人材への需要が高まっています。また、少子高齢化・人口減少など地域課題も複雑化する現代において、未来志向で地域社会の発展をリードできる人材育成が必要不可欠となっています。

2024年に開設予定の「データサイエンス経営学部(仮称 設置構想中)」では、データサイエンスの素養を持ち、基礎的経営学をベースに実践的な知識を身に付けた、課題解決や価値創造につなげられる「データサイエンス及び経営学の専門家」を新たに育成します。

## これからの地域産業を支え続けるために、必要な力

地域を豊かにする「社会実装力」とは？  
=目の前の社会をより良くするための課題発見・解決力

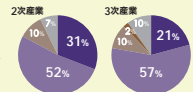
マネジメント力とデータサイエンス力を兼ね備えることが、社会実装力の基盤となる！



### トピックス 地元企業もデータサイエンスを修得した人材の必要性を感じている！

Q. データサイエンスを修得した人材はどの程度必要か？

必要である 2次産業 83% / 3次産業 78%



※直近で宇都宮大学に求人情報の提供があった栃木県内の企業(団体等(従業員数100名以上)に対するアンケート調査を実施。送付数:307社/回答企業(団体数):104社。

- 非常に必要である
- ある程度必要である
- ほとんど必要ない
- まったく必要ない
- そもそも「数据」・「データサイエンス・AI」というものをよく知らない

## 育成する人材像

### データサイエンスの素養と経営学の素養を兼ね備え、複眼的視野を持った経営人材

宇都宮大学の学位授与方針(タイプA・ポリシー)のもと、データサイエンス経営学部(仮称 設置構想中)では、「宇大スタンダード」に定める汎用的能力(学修力・情報活用力・論理的思考力・表現力・協働力・課題解決力)と、右記のような専門分野に関する知識・技能を獲得した学生に「学士(経営情報学)」の学位を授与する。

- ✓ 企業の諸課題を見つけ出し、その解決策をデータに基づき、理論的かつ実践的に提案できる。
- ✓ 経営学とデータサイエンスに関する基礎学力を修得し、複眼的かつ総合的な視野からマネジメントを理解し、データを利活用できる。
- ✓ リーダーシップを発揮し、データをビジネスにおける諸課題の解決や意思決定等に反映し、新たな価値が創造できる。

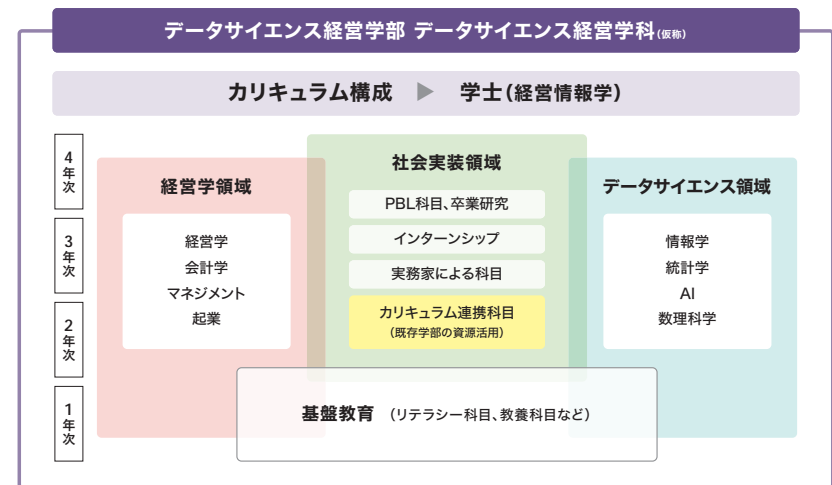
## 学びの特色

- 受験時及び入学時には学系を決定せず、入学後に教員のアドバイスを受けながら、一人ひとりの志向に合わせた進路を決定
- 2分野の専門基礎を学んだのち、2年次後期時点で「データサイエンス学系」「経営学系」のいずれかを選択
- 「データサイエンス学系」では、データ科学に立脚した企業経営・組織運営の改善提案や意思決定ができる高度IT人材を育成
- 「経営学系」では、理論・技術と地域産業等における課題とを結びつけた提案・実装ができる、企業・公共人材を育成
- 演習系科目は学部全体で実施し、互いの専門性を持ち寄りながら協働するマインドを養成
- 地元企業等でのインターンシップや実務家による教育など、現場の課題解決に向けた授業を実施

## カリキュラム構成

カリキュラムには、「データサイエンス領域」「経営学領域」、そしてそれらに応用する「社会実装領域」のそれぞれの専門科目が配置されます。データサイエンスと経営学の基礎となる科目は必修科目としてすべての学生が履修し、複眼的視野の礎とします。

その後は、「データサイエンス学系」と「経営学系」に分かれ、それぞれの専門分野を深めつつ、地元企業等での演習科目、インターンシップや実務家による科目を学ぶことで社会実装力を身に付けていきます。また、既存学部の科目も履修し、視野を広げていくこともできます。



※記載の内容は構想中のものであり、今後、変更となる場合があります。